

真宗

【巻頭言】—年頭の挨拶—  
「身心柔軟—念佛者の生活—」  
宗務総長 木越 渉

真宗本廟 報恩講 厳修

〔教団の動き〕  
「令和6年能登半島地震復興支援事業～東本願寺  
で能登を想ふ～」開催  
2026年1月号より『同朋新聞』の紙面及び  
ウェブページをリニューアル  
〔お知らせ〕  
〔寺院活性化支援室〕～支援事業のあらまし～  
発行

大谷専修学院の2026年度学生募集中止について

〔特集〕

第7期「教区及び組の改編に関する中央委員会」  
報告書

1月号

2026(令和8)年



真宗本廟 修正会

# 真宗

1月号

第1462号

宗派公式ウェブサイトで宗派情報の発信を行っています。



## 各教区・開教区等の 行事一覧



卷頭言一年頭の挨拶	2
「身心柔軟一念仏者の生活—」宗務總長 木越 渉	
教団の動き	4
真宗本廟 報恩講 崩修	
「令和6年能登半島地震復興支援事業～東本願寺で能登を想ふ～」開催	
2026年1月号より『同朋新聞』の紙面及びウェブページをリニューアル	
<b>お知らせ</b>	
『寺院活性化支援室～支援事業のあらまし～』発行	9
月刊聞法誌『ともしび』判型変更・価格改定について	10
第60回「京の冬の旅」大寂殿・官御殿・鐘楼 特別公開	12
大谷専修学院の2026年度学生募集中止について	13
教行信証（坂東本）カラー影印本 申込受付中	14
（広告）月刊『同朋』1月号—特集「南無阿弥陀仏」	15
<b>特集</b>	
第7期「教区及び組の改編に関する中央委員会」報告書	16
<b>各種連載</b>	
児童教化のページ（596）	26
今月のお寺（231）〈長浜別院大通寺〉「一人の住職から別院の輪番へ」	28
<b>ご案内・要項</b>	
総合相談室	29
教区真宗学院生募集要項（大垣）	33
真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告【上山報告】	34
学階請求論文提出要項	35
2025年度「真宗女性僧侶の集い」開催要項	36
第63回 大谷スカウト名誉奉仕訓練開催要項	37
雪に説しむ池の平with子ども報恩講・第37回スキー学校開催要項	38
第3回「真宗トーク」アプリで対話カフェ 参加者募集	40
若者教化立ち上げ応援プロジェクト募集要項	41
南米開教区 開教使募集要項	42
真宗本廟奉仕のご案内	43
現在受付中の募集・開催要項等	43
真宗教化センター しんらん交流館のご案内	44
大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内	44
真宗本廟 参拝接待所のご案内	46
真宗本廟収骨・読経・帰歎式受付時間表（2月～3月）	48
宗派関連ウェブサイト等のご案内	50
<b>公示・告示・任免等</b>	
	51

## 新刊のご案内

# 原典に立ち返った学びを進めるための 聞法テキストシリーズ第四弾

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讚記念

# 宗祖親鸞聖人著作集 四

聖教編纂室(編)／東本願寺出版(発行)

## 原典に立ち返った学びを進めるための聞法 テキストシリーズ第四弾。

宗祖親鸞聖人撰述の仮名による聖教（『尊号真像銘文』『一念多念文意』『唯信鈔文意』『弥陀如來名号德』）、また宗祖書写の聖教（『一念多念分別事』『後世物語聞書』『自力他力事』『唯信鈔』）の翻刻を収載。

A5判・箱入り 416頁  
定価：4,950円(税込)



TEL:075-371-9189まで

詳しい書籍情報・試し読みに  
東本願寺出版

宗社新編聖人著作集

一急多急分別事  
後世物語聞書  
自力他力事  
唯信鈔

東坡集

その悩み、哲学者とお坊さんはこう答える  
小川仁志・大來尚順著 哲学者と  
僧侶たる「悩み」のプロの二人が、  
それぞれの立場から人生常の  
悩みにたいする解決へのヒントを  
伝授。  
一、五六〇円

日本淨土思想の歴史

円仁・源信・法然・親鸞

四夷開闢著 日本書紀に大きな影  
響を与えた淨土思想。その歴史と、  
特に重要な四人の祖師を通じて、日  
本の歴史と思想の発展をたどる。  
日本淨土思想の歴史

こう答える



近刊 禅と念仏 —昭和の名僧 森本省念の禅  
北野大雲 感応がわからぬい神は本物ではない。  
西田幾多郎の愛弟子にして長岡雲塾 一世・森本省念。蜂屋賀章代や曾我屋量深など真宗人と交流し、淨土教へと伸びた禅の核心に迫る。予備二 六四〇円

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458

法藏館

<https://pub.hozokan.co.jp> 新刊メール配信中!  
表示価格税込 お買上16,500円(税込)以上送料無料



令和6年能登半島地震 奥能登豪雨物故者追弔法会 (2025年6月21日)

正覚を取らし。

(『仏説無量寿經』、『真宗聖典 第二版』二十二頁)

た私一人の問題であります。それぞれの場において、力を尽くして参りましょう。

説い我、仏を得んに、十方無量不可思議の諸仏世界の衆生の類、我が光明を蒙りて其の身に触れん者、身心柔軟にして、人天に超過せん。若し爾らずは、正覚を取らし。

(『仏説無量寿經』、『真宗聖典 第二版』二十二頁)

設い我、仏を得んに、十方無量不可思議の諸仏世界の衆生の類、我が名字を聞きて、菩薩の無生法忍・諸の深総持を得ずは、正覚を取らじ。

(同二十二～二十三頁)

本年没後五十年を迎える金子大榮氏は、大經の第三十三願「触光柔軟の願」と第三十四願「聞名得忍の願」を念仏者の生活の基本になる願文であると読み解いてくださっています。先達の教えに導かれたながら、我々が握りしめた物差しではなく、日々如来回向の念仏を賜り、その握りしめた握りこぶしを聞きつつ、共に念仏者の大道を歩ませていただきましょ

南無阿弥陀仏

〔巻頭言〕

## 身心柔軟——念仏者の生活——

宗務総長 木越 渉



本年もまた、如来の光に照らされつつ新たな一年が始まりました。

一昨年の元日に発災した令和六年能登半島地震を経験し、新年を祝う気持ちだけでは決して済まされない、火宅無常の世に生かされる人間存在の深い悲しみに思いを馳せつつ、被災地で生活する御同行の皆さまを憶念する年頭です。

ここにあらためて、今なお苦難の生活を送られている方々に心よりお見舞い申し上げます。また、復興に向けて被災者の方々と歩みを共にされておられる皆さまに、衷心より感謝申し上げます。

さて、一昨年の元日を調査期日として実施した第八回「教勢調査」では、門徒の減少、伝統的に篤信地帯といわれる北陸などで盛んな講の激減をはじめとした教化組織の衰退・解体が指摘されました。また、正信偈のおつとめができる門徒の減少に象徴される、浄土真宗の伝統・文化の全国的な変化が明らかになりました。殊に能登は深い信仰生活に裏打ちされ

れた、お念仏の声が染み込んだ土徳の地であります。能登の復興とは、信仰生活の復興であります。引き続き能登に心を寄せて参りましょう。

そして本年は「教勢調査」の分析結果を基に、あらためて「一人の念仏者の誕生」を期し、様々な宗派施策の再点検・再構築を行い、次世代に確かにお念仏の教えを受け渡すことができるよう、行財政改革をはじめとした取り組みをさらに推し進めていく重要な年です。

人間の手による改革は、様々な障壁に直面し、時に対立を生み出すこともあります。しかし、我々が歩む道は、お念仏を賜る道であります。人間が握りしめる正義の危うさを仏智によつて知らされながら、一步一步対話を重ねて参りたいとおもいます。

今、宗門が直面する課題は、確かに難題ではありますが、如来の光に照らされ、教えられてみれば、宗門にご縁を賜つ



# 教団の動き

組織部・本廟部・企画調整局

「令和6年能登半島地震復興支援事業」 東本願寺で能登を想ふ～」

二〇一二五年、貞宗本廟報恩講期間中、「令和六年能登半島地震復興支援事業」東本願寺で能登を想ふ」として各種企画が行われました。

「ブースー災害につよい教団を目指して」を設置。震災の被害や現在の状況・宗派のボランティア活動を伝えるパネル展示のほか、防災意識の向上を願い、災害用非常食や避難所で使われる段ボールベッド等の展示が行われました。またブース他境内各所で救援金が募りました。

「デキュメンタリー映画『屈が灯る』～奥能登、珠洲の記憶～」上映会・シンポジウム

十一月二十二日には、東京本陣御賓館で、  
ルにおいて、ドキュメンタリー映画「嵐が灯  
るころ～奥能登、珠洲の記憶～」上映会と、  
能登の現状と今後を語り合うシンポジウムが  
開催されました（企画協力・関西珠洲会、後  
援・関西石川県人会連合会・京都石川県人会）  
映画は、二〇二三年五月五日に発生した地  
震の後、珠洲市の各町内で行われる「キリコ  
祭り」の復興の様子を追いかけたドキュメン



能登の現状と今後を語り合うシンポジウム  
人々にとつて代表的な牛生文化の一つである祭りの復興と、その後再び見舞われた令和六年の震災災後の困難な状況の中で、それでも次世代に繋げていこうとする

院の再興が不可欠であろうと語られました。また、有馬氏からは「能登の復興はまだこれから。今後も十年くらいかけて振り続けていきたい」との思いも語られました。視聴覚ホールホワイエでは、石川県珠洲市出身の報道写真家である頬光和弘氏による写真展も同時開催されました。震災、豪雨災害を経ての能登の厳しい現実と、懸命に生き抜く人々の嘗みが写真と解説とともに記録され、訪れた人々は足を止め見入っていました。

「お東さん広場」において、十一月二十二日から二十

「お東さん広場」において、前年に引き続き、能登半島地震復興応援ひろばを開催しました。震災、豪雨災害を経ての能登の厳しい現実と、懸命に生き残る人々の苦難が写真と解説とともに記録され、訪れた人々は足を止め見入っていました。出身の報道写真家である頼光和弘氏による写真展も同時開催されました。

能登半島地震復興応援ひろば  
産の海産物や  
お米などの食  
材を用いた飲  
食ブースや、  
お茶、お菓子  
工芸品等の販  
売ブースが設  
けられました



## 未完の天井画が映し出された御影堂門楼上



## 見聞『教行信証』坂東本



御正多報圖講コンサート [27日]



九章（十一章既）



秋の北國

報恩講お齋は、「精進ごはん おうちでできるレシピ108」(東本願寺出版)の著者である森かおる氏監修のもと、一部献立がリニューアルされ、能登半島地震の復興支援として能登の食材を使ったお齋が用意されました。

## 境内内外での取り組み

境内・お東さん広場では、前年に引き続き「令和六年能登半島地震復興支援事業」(チーマ・東本願寺で能登を想ふ)として様々な企画が行われました。(詳細七頁)

各日の日中と連夜の間には、宗祖親鸞聖人

の自筆にふれていただくことを願い「教行信証」坂東本(影印本)の展示及び教学研究所の研究職員による解説が阿弥陀堂で行われました。解説の後には、参拝者は展示された影印本を間近で熱心に見つめ、研究職員に質問する姿も見られました。

御影堂門では楼上一般公開を実施し、約三千名が足を運びました。今回は御影堂門が

しんらん父流館では、差別や戦争等の苦しみの中で、解放を願う人びとの絵画や版画等をパネルや動画で展示する「AIAUひろば」が行われました。

二十三日・二十四日・二十八日には、「子ども参拝案内所」を設け、子どもたちに向けた両堂の参拝案内、参拝記念品の配布や紙芝居の上演等を実施。二十二日から二十五日には

子やお米、日用品などの寄付を募る「おでてらおやつクラブ「東本願寺」を開設。期間中多くの寄付が寄せられました。

涉成園では十一月十五日から三十日まで、夜間特別拝観「涉成園秋灯り」を実施。庭園のライトアップとともに飲食ブースの出店もあり、報恩講への参拝の後、庭園へ足を運ぶ姿が見られました。

境内自洲においては、真宗大谷派教誨師、天井を見上げました。

東本願寺キヤラクター大型バルーンも設置され、子どもたちが元気にお遊ぶ様子が見られました。





## 【教育部】

## 大谷専修学院の2026年度学生募集中止について

大谷専修学院では、職員間の不和に端を発する問題により、学院の運営体制を整えるため、2025年度の学生募集を中止いたしました。現在、宗派と一部職員との間で裁判が係属中であり、学院設置者である宗派当局としては、現段階において、職員間の十分な協力体制のもと、入学される学生に安心して就学いただける環境を提供することが困難であると判断し、引き続き、2026年度（2026年4月入学分）も学生募集を中止いたします。

大谷専修学院への入学および学院での教師資格取得をご検討いただいている皆様方には、大変ご迷惑をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

なお、大谷専修学院の他に、教師の無試験検定資格を付与する学事施設は、以下のとおりですでの、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

## «2026年度入学者募集予定のある無試験検定資格を付与する学事施設一覧»

- ・大谷大学（文学部・社会学部・教育学部・国際学部）[京都府京都市・修業年限4年]
  - ・大谷大学大学院[京都府京都市・修業年限2年（修士課程）、修業年限3年（博士課程）]
  - ・大谷大学 科目等履修生 真宗大谷派教師資格取得コース[京都府京都市・修業年限2年]
- ※本コースの出願には、4年制大学（第2学年まで修了している場合は在学中でも出願可）、短期大学等を卒業、もしくは卒業見込みであること等の条件があります。詳細は宗派ウェブサイト記事から大谷大学ホームページへのリンクがありますのでご確認ください。
- ・同朋大学（文学部・社会福祉学部）[愛知県名古屋市・修業年限4年]
  - ・同朋大学大学院[愛知県名古屋市・修業年限2年（修士課程）、修業年限3年（博士課程）]
  - ・同朋大学 別科専修[愛知県名古屋市・修業年限1年]
  - ・九州大谷短期大学（仏教学科）[福岡県筑後市・修業年限2年]
  - ・金沢真宗学院[石川県金沢市・修業年限3年]
  - ・大垣真宗学院（夏期集中）[岐阜県大垣市・修業年限4年] ※詳細は本誌33頁
  - ・大垣真宗学院（土曜コース）[岐阜県大垣市・修業年限3年] ※詳細は本誌33頁
  - ・岡崎教区真宗学院[愛知県岡崎市・修業年限3年]
  - ・名古屋真宗学院[愛知県名古屋市・修業年限3年]

※各学事施設の就業年限及び学費等の目安は、宗派ウェブサイト掲載の記事（下記QRコード）からご覧ください。

※真宗学院は、一定の入学定員を満たさない場合開院しない学院もございますので、必ず当該学院へお問い合わせください。

※上記学事施設の他、毎年3月上旬、8月下旬には宗務所において教師試験検定が行われます。詳細は宗派ウェブサイト、『真宗』誌に掲載する要項をご確認ください。

宗派ウェブサイト記事はこちら



【お問い合わせ】教育部 TEL: 075-371-9193

## 災害救援本部より

## ■「令和6年能登半島地震」ボランティア支援センターのご案内

能登教務所に設置している「ボランティア支援センター」では、宗派関係者のボランティア活動に対して、宿泊場所の提供・活動経費の助成等の支援を行っています。

被災地域では息の長い支援を必要としています。能登教区でのボランティア活動を希望される方は、ボランティア支援センターにお問い合わせください。

※宿泊・活動助成等の詳細はボランティア支援センターホームページをご覧ください。

〒926-0816 石川県七尾市藤橋町テ9-1 [能登教務所内]

TEL: 070-1860-6010 (専用電話) FAX: 0767-53-0057 [能登教務所]

E-mail: nvsc@higashihonganji.or.jp



ボランティア  
支援センター  
ホームページ

## ■救援金のお願い

宗派では、このたびの「令和6年能登半島地震」に対する救援金の勧募を行っております。皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。



【救援金口座】 郵便振替口座番号 00920-3-203053

【加入者名】 真宗大谷派 ※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。

最新情報はこちら

宗派公式  
ウェブサイト→



## 【令和6年能登半島地震指定救援金総額】

248,636,328円 (2025年12月1日現在)

※宗派救援金口座及び境内救援金箱に寄せられた救援金の総額

宗派災害情報  
公式X→



## 【お知らせ】 第60回「京の冬の旅」大寝殿・宮御殿・鐘楼 特別公開

毎年冬に開催される京都市・京都市観光協会主催のキャンペーン「京の冬の旅」において、「大寝殿」「宮御殿」を僧侶が案内します。また、修復後初めて鐘楼の見学も実施します。この機会にぜひご参拝ください。

## ◆「大寝殿」「宮御殿」「鐘楼」特別公開

期間 2026年1月9日(金)～3月18日(水) 毎週水曜～土曜

※1月15日・24日、2月5日・12日・21日・27日、  
3月4日・6日・12日は休止

時間 各日9時～（1日1回・所要時間約80分～90分）

料金 2,700円

※事前予約制（予約は「京の冬の旅」特設サイトにて）

詳細・予約は「京の冬の旅」特設サイトをご覧ください→



宮御殿 冬の間



鐘楼



月刊 どうぶう

# 同朋

佛教がみちびく、あらたな人生

まずは、お寺で1冊ご購入ください!  
◇ご門徒へのプレゼント、法要・行事の記念品  
としてもご利用ください。

「同朋」は生活の視点から、  
浄土真宗に親しむための月刊誌です

1月号特集 南無阿弥陀仏

寄稿

諸仏称名の声／名和達宣 (真宗大谷派教学研究所所員)  
南無・帰命・帰依／箕浦暁雄 (大谷大学教授)  
共惱共歩／工藤量導 (大正大学専任講師)  
蓮如上人の伝道—副作用とその対応／井上見淳 (龍谷大学教授)  
龜谷凌雲牧師のこと／戒能信生 (日本基督教団千代田教会牧師)

〈インタビュー〉  
自分の意思を超えてやってくる超越的なもの  
／中島岳志 (政治学者)

巻頭インタビュー 土井善晴 (料理研究家)

新連載スタート!!

魅力ある連載

土井善晴の風味をたずねて  
土井善晴 (料理研究家)

釈迦発遣の八正道  
大島義男 (僧侶)

地獄極楽を読み解く  
ロバートF.ローズ (ジャーナリスト)

後生の一大事を心にかけて  
ニューヨークから開教便り  
名倉幹 (僧侶)

対話 生きづらいこの世界でも  
竹田ダニエル (ジャーナリスト)

ペコロスのほどけてしゃがんで  
岡野雄一 (マンガ家)

お問い合わせ

◆FAX・電話・ハガキ・メール、またはオンラインショップでお申し込みいただけます。

◆代金は、「同朋」と共に送付いたします振込用紙にて、お支払いください。

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る  
東本願寺出版「同朋」係  
TEL: 075-371-9189 FAX: 075-371-9211  
メール: books@higashihonganji.or.jp

●毎月1日発行 ●購読料 年間 4,400円 (税込・送料込) 1冊 440円 (税込・送料込)  
●A4判 フルカラー60頁

ついに、月刊「同朋」が電子書籍になります! Kindle (Amazon) や楽天koboなどで購入いただけますので、「紙」でも「電子」でも、「同朋」をお楽しみください! 詳細は「東本願寺出版」検索

## 教行信証(坂東本) カラー影印本 申込受付中

このたび、『坂東本 教行信証』カラー影印縮刷本(東本願寺出版)の発行に際して、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の記念事業として2005年に製作された、高精細カラー印刷を用いた『教行信証(坂東本)』カラー影印本(原寸大)を、あらためてお求めになる声が寄せられました。

そこで、その声にお応えして本山で大切に保管しておりました最後の30部を頒布いたします。

これが最後の機会となりますので、ぜひともお申込みください。

残14部  
(12月4日現在)



受付期間: 2025年10月1日から2026年6月30日まで【申込先着順】

懇志金: 580,000円以上

申込方法: ①お名前、ご住所、お電話番号をFAXまたはメールにて送信ください。なお、件名として「教行信証(坂東本) カラー影印本申込」と記載ください。  
②財務部から振込先等ご案内をお送りいたします。  
③振込確認後、送付いたします。

注意事項: 領収書は発行いたしませんのでご了承ください。

金融機関発行の振込明細をもって領収にかえさせていただきます。

お届けまでに2ヵ月ほどお日にちをいただく場合がございますことご容赦ください。

### お問い合わせ

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上ル常葉町754 真宗大谷派宗務所 財務部  
TEL: 075-371-9186 FAX: 075-371-9195 mail: zaimu@higashihonganji.or.jp

# 第7期「教区及び組の改編に関する中央委員会」報告書

—2025年10月7日提出—  
第7期 教区及び組の改編に関する中央委員会

本誌12月号7頁に掲載のとおり、10月7日、教区及び組の改編に関する中央委員会（坂本敏朗委員長）から、「第7期教区及び組の改編に関する中央委員会報告書」が宗務総長に提出されました。

教区及び組の改編の取り組みを全宗門的に共有し、宗門人一人ひとりが宗門の将来像を積極的に語り合う場が開かれていくことを願い、報告書の全文を公開します。

## 第7期教区及び組の改編に関する中央委員会

委員長	坂本 敏朗	(金沢教区)
副委員長	今川 雅照	(福井教区)
委員	高野 敦尊	(東北教区)
	金卷 拾子	(新潟教区)
	杉江 勝彦	(岐阜高山教区)
田中 正章	(京都教区)	井上 完
		博 (新潟教区)
		恵 (能登教区)
服部 忍	(九州教区)	

## 1. はじめに

第7期教区及び組の改編に関する中央委員会（以下、「中央改編委員会」）（以下、「中央改編委員会」という）では、「17教区改編試案」の具現化に向けて各新教区準備委員会への助言・指導等の取り組みに邁進した。

その結果、今期において、第2期改編教区として「三条教区・高田教区」が新潟教区、「富山教区・高岡教区」が富山教区、「小松教区・大聖寺教区」が小松大聖寺教区、「長浜教区・京都教区」が京都教区、「山陽教区・四国教区」が山陽四国教区という新たなる教区が発足した。

しかしながら、「能登教区・金沢教区」については、地方協議会での合意が進捗していなかったものの、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の甚大な被害により、発足日程を2028年へ延期することとなり、第7期任期中の「17教区改編」の実現には至らなかつた。宗務改革の推進にあたっては、教えを相続するための宗門の基盤が失われかねない現実を前にして、宗門を取り巻く環境分析を踏まえつつ、教区の教化、財政、並びに組織機構の見直しを行なうことは大きな課題である。そして改編教区にあつては、この課題に持続的に取り組むことにより、宗門の危機的状況が共有され、試行錯誤を重ねながらも新たな教区の将来像を真摯に描き、次世代への教えの相続に正面から取り組まってきたものと受け止めている。

引き続き、「次世代に手渡す宗門の将来像」の構築に向け、改編関係教区にとどまらず、全ての教区において教区・組の在り方やその将来像を積極的に語り合う場が開かれて行くことを願いつつ、ここに今期における宗務改革たる教区及び組の改編のあゆみと課題を取りまとめ、報告書とする。

## 目次

1. はじめに
2. 改編関係教区の進捗
  - (1) 新教区として発足した改編教区
  - (2) 能登教区・金沢教区の改編協議の現況
3. 第7期中央改編委員会の取り組みと課題の共有
  - (1) 新教区発足後の課題の分析について
    - ① 岐阜高山教区
    - ② 九州教区
  - (2) 改編によって見えてきた課題
    - ① 教区や組における教区自治にかかる課題
    - ② 別院の課題について
    - ③ 行財政改革との連動について
    - ④ 都市開教の展望について
    - ⑤ 第3期改編教区について
    - ⑥ 各教区における組の改編について
4. おわりに

## 2. 改編関係教区の進捗

### (1) 新教区として発足した改編教区

#### 【新潟教区（三条・高田教区）】

2021年6月合意、2023年7月新教区発足の地方協議会及び「組織」「教化」「財務」の各部会における緻密な検討と協議が重ねられ、2021年6月29日の地方協議会において合意書が取り交わされた。

その後、2021年8月20日に第1回新教区準備委員会が開催され、2023年3月までに計4回の委員会が開かれた。また、コロナウイルス感染症の蔓延状況下にあって、両教務所を結んだオンライン会議の活用も行いながら、「組織」「教化」「財務」の小委員会、さらには各小委員会正副主査を構成員とする常任委員会を通じて、具体的かつ継続的な検討作業が進められてきた。

これらの協議を経て、2023年3月31日に開催された第5回新教区準備委員会において、「教区及び組の改編に関する条例」に定める新教区発足年度の教化研修計画や予算規則並びに新教区発足後の教区会・教区門徒会までの役職者に関する事項等について、最終的な議決がなされた。

上記内容は、同年開催の第73回宗議会及び第71回参議会で議決され、2023年7月1日をもって、新潟教区が発足するに至った。

なお、旧三条教務所を教務所とし、旧高田教務所は、教務所事務一般を行う教務事務所として「高田教務事務所」と称することとなつたが、特筆すべき点としては、新教区準備委員会において教区独自の門徒戸数調査が実施された上で、その調査結果に基づき、新教区発足と同時に経常費御依頼及び教区費等の割当基準が統一されたことが挙げられる。

また、広域化した教区においては、教務所に常駐する教務所長だけ

では教区内三別院（三条別院・高田別院・新井別院）の輪番としての業務を行えないことから、教務所と支所の業務の仕分けを検討する中で、旧高田教区内の高田別院及び新井別院において副輪番（教務所次長兼務）職を置くことの要請が当局になされ、それに応える職員配置となつた。

さらには、新教区発足にあわせて「宗議会議員選挙条例」に定める投票区並びに郵便投票を行う区域の見直しも検討され、その協議結果を受け同条例の改正がなされている。

#### 【富山教区（富山・高岡教区）】

##### 【2020年3月合意、2023年7月新教区発足】

2012年5月11日に第1回地方協議会が開催されて以降、14回の地方協議会及び「組織」「教化」「財務」の各部会において、鋭意検討と協議がなされた。そして2020年3月10日の地方協議会において合意書が取り交わされた。

その後、2023年3月までに計4回の新教区準備委員会が開催されたほか、「組織」「教化」「財務」の各小委員会に加え、富山別院・井波別院・城端別院を擁する地域特性を踏まえた教化事業の展開を視野に「別院の位置づけ等に関する委員会」及び「富山教区教学研究機関の設置に関する検討委員会」が設置された。

また、各小委員会の正副主査を構成員とする常任委員会も設けられ、具体的な検討作業が継続的に進められてきた。

これらの協議を経て、2023年3月8日に開催された第5回新教区準備委員会において、「教区及び組の改編に関する条例」に定める新教区発足年度の教化研修計画や予算、規則並びに新教区発足後の教区会・教区門徒会までの役職者に関する事項等について、最終的な議決がなされた。

上記内容は、同年開催の第73回宗議会及び第71回参議会で議決され、2023年7月1日をもって、富山教区が発足するに至つた。

しかしながら、教区と別院が連携して展開する教化事業、教区の教化染症の影響による世話方減少や御講衰退の問題に対し、あらためて御講の（伝統と法寶物の）維持と、相続講における教化と募財の活性化のため、現状分析と継続に向けての協議が始められている。

#### 【京都教区（長浜・京都教区）】

##### 【2022年6月合意、2024年7月新教区発足】

2017年2月3日に第1回の地方協議会が開催されて以降、23回の地方協議会及び「教化に係る専門部会」の検討と協議を通じ、2022年6月27日の地方協議会において合意書が取り交わされた。

その後、2022年9月29日に第1回新教区準備委員会が開催され、2024年3月までに計6回の委員会が開催された。これに加えて、「教化組織」、「財務」の小委員会が設置されたほか、新たな京都教区においては、旧長浜教区の区域を「特区」として地域の教学・教化を担つて行くことを目的とした「特区小委員会」も設けられた。あわせて、各小委員会正副主査を構成員とする常任委員会を通じて、具体的かつ建設的な検討作業が進められてきた。

こうした協議を経て、2024年3月29日に開催された第7回新教区準備委員会において、「教区及び組の改編に関する条例」に定める新教区発足年度の教化研修計画や予算、規則並びに新教区発足後の教区会・教区門徒会までの役職者に関する事項等について、最終的な議決がなされた。

上記内容は、同年開催の第75回宗議会及び第72回参議会において議決され、2024年7月1日をもって、新教区として新たな京都教区が発足した。

なお、旧京都教務所を教務所とし、旧長浜教務所については、相続や諸願事の受付を行う教務支所とした。

また、旧京都教区での教化事業は、教区を8地区に分けて地区教化

学・教化を牽引する教学研究機関の充実、さらには新たな宗派経費の節減を図ることとなつた。

御依頼割当方法の在り方については、新教区発足後の継続的な協議、新教区発足年度の教化研修計画や予算、規則並びに新教区発足後の教区会・教区門徒会までの役職者に関する事項等について、最終的な議決がなされた。

#### 【小松大聖寺教区（小松・大聖寺教区）】

##### 【2021年3月合意、2023年7月新教区発足】

2017年3月1日に第1回の地方協議会が開催されて以降、9回の地方協議会及び「組織」「教化」「財務」の各部会における検討と協議が行われ、2021年3月24日の地方協議会において合意書が取り交わされた。

その後、2021年6月1日に第1回新教区準備委員会が開催され、2022年12月までに計4回の委員会が開催されたほか、「組織」「教化」「財務」の各小委員会に加え、教区の中長期的展望を見据えた「将来構想小委員会」も設置され、各小委員会の正副主査を構成員とする常任委員会が統括的に議論を集約しながら、具体的な検討作業が継続的に進められてきた。

こうした協議を経て、2022年12月14日に開催された第5回新教区準備委員会において、「教区及び組の改編に関する条例」に定める新教区発足年度の教化研修計画や予算、規則並びに新教区発足後の教区会・教区門徒会までの役職者に関する事項等について、最終的な議決がなされた。

上記内容は、翌2023年第73回宗議会及び第71回参議会において議決され、2023年7月1日をもって、新教区として小松大聖寺教区が発足するに至つた。

上記内容は、翌2023年第73回宗議会及び第71回参議会において議決され、2023年7月1日をもって、新教区として小松大聖寺教区が発足するに至つた。

また、旧小松教務所を新教区の教務所とし、旧大聖寺教務所については、主に相続講事務を行う教務支所として位置づけられた。

特に、小松及び大聖寺の地において伝統され、大切に受け継がれていた、崇敬区域内寺院の僧侶の中から専任輪番（二別院兼務）を配した。

#### 【山陽四国教区（山陽・四国教区）】

##### 【2023年5月合意、2025年7月新教区発足】

2021年6月18日に第1回の地方協議会が開催されて以降、13回の地方協議会及び「教化専門部会」における検討・協議を経て、2023年5月10日の地方協議会において合意書が取り交わされた。

その後、2023年6月26日に第1回新教区準備委員会が開催され、2025年4月までに計2回の新教区準備委員会が開催された。あわせて、「組織」「教化」「財務」の小委員会、さらには、各小委員会正副主査を構成員とする常任委員会を通じて、具体的かつ継続的な検討作業が進められてきた。

これらの協議を経て、2025年4月25日に開催された第3回新教区準備委員会において、「教区及び組の改編に関する条例」に定められた新教区発足年度の教化研修計画や予算、規則並びに新教区発足後の教区会・教区門徒会までの役職者に関する事項等について、最終的な議決がなされた。

上記内容は、同年開催の第77回宗議会及び第74回参議会において議決され、2025年7月1日をもって、新教区として山陽四国教区が発足するに至つた。

なお、旧山陽教務所を教務所とし、旧四国教務所は諸願事等の受付を中心とした教務事務全般を担う教務支所として位置づけられた。

また、これまで教務所長が兼任していた別院輪番について、改編に

よつて広域化する中では、輪番としての職責を果たすことが困難であること等を勘案し、広島別院並びに土佐別院について崇敬区域内寺院の僧侶の中から専任輪番が配されることとなつた。

その後、2023年12月22日に第1回新教区準備委員会が開催され、「組織」「教化」「財務」の各小委員会に加え、新教区の将来展望を見通すための「将来構想小委員会」及び各小委員会正副主席を構成員とする常任委員会が設置され、2025年7月1日の新教区発足を目指した具体的な検討作業に着手した。

しかしながら、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、教区改編に関する協議は、一時中断を余儀なくされる状況となつた。そのような中につつても、同年5月8日には第2回新教区準備委員会が開催され、震災の影響が特に顕著である能登教区の現況を見極める必要があることを確認しつつ、教区改編の意義を確認した。

その一方で当初予定していた改編期日での実施が現実的か否か、あるいは時期を改めて設定すべきかといった議論がなされ、被害の甚大な能登教区への支援や復興という質を持った教区改編の在り方が模索された。

こうした協議の結果、2025年1月14日に開催された第3回新教区準備委員会において、特に能登教区の方々への心情面の配慮をするためには十分な年月が必要である、という意見が多くの賛同を得、改編期日を2028年7月1日へと3ヵ年延期する方針が確認され、同年2月には、両教区の臨時教区会・教区門徒会を経て、改編期日の延期の申し入れが中央改編委員会に提出された。

（2）能登教区・金沢教区の改編協議の現況

2020年11月6日に第1回の地方協議会が開催されて以降、13回の地方協議会及び「教化」「組織」「財務」の各部会における検討・協議を経て、2023年6月19日の地方協議会において合意書が取り交わされた。

その後、2023年12月22日に第1回新教区準備委員会が開催され、「組織」「教化」「財務」の各小委員会に加え、新教区の将来展望を見通すための「将来構想小委員会」及び各小委員会正副主席を構成員とする常任委員会が設置され、2025年7月1日の新教区発足を目指した。

しかししながら、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、教区改編に関する協議は、一時中断を余儀なくされる状況となつた。そのような中につつても、同年5月8日には第2回新教区準備委員会が開催され、震災の影響が特に顕著である能登教区の現況を見極める必要があることを確認しつつ、教区改編の意義を確認した。

中央改編委員会としては、今般の両教区の判断を重く受け止め、延

期はやむを得ないものと認識するに至つたが、今後に向けて首都圏教化推進本部等が取り組む仏事代行や仏事サポートの制度を参考にするなど、新教区発足に先立つて両教区が協働して進めるべき内容を明確化し、ロードマップを作成の上で、段階的に取り組みを継続するよう申し入れを行つた。

### 3. 第7期中央改編委員会の取り組みと課題の共有

#### （1）新教区発足後の課題の分析について

第6期報告書に示されているとおり、新教区の発足が帰着点ではなく、中長期的な視野に立ち、改編後も不斷に教区の教化や組織運営に係る点検と確認を行いながら、あるべき教区像を模索し続ける体制の必要性が見いだされている。

とりわけ岐阜高山教区、九州教区については2020年7月に新教区が発足して一定期間を経る中で、教区及び組の運営に關わる教化、財務、組織機構等の面で想定し得なかつた課題が生じ、当初のイメージどおりの新教区像に至らない状況が報告されてきた。

このことを踏まえ、中央改編委員会としては、改編後の教区へのサポートをいかに捉えていくべきかを検討し、2023年第73回宗議会及び第71回参議会における議を経て、「教区及び組の改編に関する条例」に、中央改編委員会の業務として「教区及び組の改編後の課題及び支援の調査、研究に関する事項」を加えることとなつた。

この業務が追加されたことにより、中央改編委員会では、改編から3年を目途とする教区に委員が出席し、教区役職者等との懇談を通じて意見交換を行うこととした。

#### ①岐阜高山教区（2024年3月懇談会開催）

##### 1 総合企画室の設置の現状と課題

総合企画室は、両地区教化センターの体制を含めた将来的な方向性を検討するために設置された。しかし課題が多岐にわたり逆に煩雑となつた。また、寺院活性化支援室との関係性も含め検討が必要である。本来は教区の将来像を示す役割が期待されていたが、財務や組織課題については既存の機関が担う方が妥当と認識されつつある。また、当初3年で御依頼担当基準の統一化を目指したが、その実現には至つていない。

##### 2 新教区の現状と見通し

改編によつてひとつの教区となりながらも地区（旧教区）単位での事業進捗が継続しているのは、地域特性を活かすためであり、教区内では概ね受容されている。一方で、新教区の発足によつて、他の地区の行事等に学びたいという声が生まれており、慶讃お待ち受け取り組みなどを通じて両旧教区の交流が進み、地域の良さを活かした共同活動も芽生えている。引き続き両地区の交流を推進し、新教区としての調整すべきところ、統一化すべきところは何かを時間をかけて積み上げていくこととなる。

なお、改編後3年を目途に教区費統一を図ろうとしていたが、現状の進捗では困難である。ただし、このことに伴つて財務委員会が複数回開催されるようになつたことは教区内の意識改革の表れと理解されていることであり、また、経常費の割当の在り方についても本質的な議論が始まりつつある。今後も教区内での理解を深めて統一化に向け議論している。

##### 3 教区改編特別給付金の使途及び効果について

総合企画室・資料費や高山教務支所修繕費、Web会議設備の整備等に充当された。

これにより広域となつた教区にあつて、その中間地点であるエリアをサテライト会場と位置づける教化事業も設けられ、そのエリアでの参加も可能となつた。ただし、その際の参加費徴収については、

これまでの両地区の方針が踏襲されたことによつて、同じ研修を受講した方の中で有償・無償に別れるなど課題も表出している。また郡上教会の整備も行われたが、コロナウイルスの影響で十分な活用とまでには至つていない。

なお、人的交流の基盤の確立に向けた交流事業にも活用されており、報恩講参り等、地区別院（岐阜別院、高山別院）の団体参拝を促進する共同教化事業を実施できることも効果のひとつである。

さらには研修カリキュラムや御依頼完納記念品の統一も進捗した。

##### 4 今後必要なサポートについて

継続的に他教区の事例を共有いただきたい。

##### 5 その他

今回の改編は「玉虫色」の性格を持ち、優先順位を付けつつ旧教区における運営体制を部分的に残しながら進めざるを得なかつた。改編後3年で成果を求めるることは困難であり、今後の改編教区も同様の柔軟性が必要と考えられる。岐阜高山教区をはじめとした改編の先行教区の課題や現状を全国的に共有化しつつ、他教区の取り組みを参考にした教区運営が重要ではないだろうか。

##### 6 その後、具体的に進捗している事柄について

2028年に教区慶讃法要を厳修する予定であるが、法要当日の一過的なものとして厳修するではなく、岐阜・高山地区の交流を深め合いながら、両地区的枠を超えた慶讃事業を計画し、法要後の教区教化を見据えた取り組みとすることが確認された。この教区慶讃事業に向けた取り組みこそが、新教区像を創り上げていくきっかけとなることが願われてゐる。

#### ②九州教区（2024年2月懇談会開催）

##### 1 企画振興室の設置の現状と課題

企画振興室については、その役割や位置づけが不明確であり、理事会や所長の諮問機関との関係も曖昧となつてしまつたため、十分な機能を果たすことが難しかつた。こうした状況を踏まえ、教務



組みとしても進められるべき内容が多分に含まれている。

現在、当局において進められている行政改革のひとつ目の項目として、宗務役員の働きやすさ改革が指向されており、教区で宗務を担当する教務員の業務効率化が図られるようとしている。例えば物流改革の一環として、門徒用授与物や歳版の本山一括管理(オンラインショッピング導入)、教区内の広報・周知・情報交換に際し從来の紙媒体からスマートフォンを活用したオンライン連絡ツールの導入、さらにはAI自動文字起こしソフトを用いた会議録作成等、業務の軽減に向けた取り組みが進められている。

また、新たな交付金交付基準の策定についても、改編による教区の広域化と門徒戸数調査のこれまでの歩みを踏まえ、教区・組が一定の水準によって教化施策を実施できる体制の構築を目指そうとしているものであり、中央改編委員会としては、教区及び組の改編後の課題及び支援の調査と研究を進め、それらの内容を行財政改革の推進に活かせるよう取り組まなければならないと考える。

#### ④ 都市開教の展望について

人口流动による過疎・過密が進む社会的変化や宗教離れ・寺離れが叫ばれている中、特に都市部においては開教の視点に立った教化の展開が不可欠となってきたことが明らかとなった。実際に複数の教区において、離郷門徒対策を意識し都市教化が課題化され協議の俎上に載せられてきている。この課題に対して、現時点では九州教区における福岡都市圏での都市開教の必要性に対応した新たな教務支所の設置(福岡教務支所)と仏事サポートセンター福岡の開設に至っている。

今後は、行財政改革における取り組みとも連動し、単に九州教区における事象や課題としてのみ捉えるものではなく、首都圏や全国の都市部における開教について、新たなご縁づくりや、宗派に何からのつながりを持つ方々との関係性を構築・深化させる取り組みが不可欠であるものと考える。

は「組の改編に関する指針について」を発出し、各組や地域(県)等における組の改編に関する協議の必要性を共有していくための取り組みが進められてきた。

さらに、その他教区においても、組の改編に向けた取り組みの動向が見受けられるところであるが、こうした動きが一部の組に限定された事象に留まらぬよう、中央改編委員会としても、全教区に設置されている改編委員会を中心に、活発な議論が展開されることを強く期待し、各教区への働きかけを継続しなければならない。

振り返れば、2020年の岐阜・高山教区、九州教区が発足するまで、全国30教区体制は、約90年の長きにわたり維持されてきた。そうした歴史の蓄積を変革するという道のりには、様々な困難が伴い、また、一から教区づくりを始めるといった覚悟が求められるものであったと想像する。そして、新たに発足した新教区におかれでは、様々な違いを超え、新たな出会いを慶びしながら、新教区としての第一歩を踏み出され、発足後も継続的に教区及び組の在り方に於て確認と点検を重ねておられる。

各教区の新教区準備委員会をはじめ、これまでの関係各位の不斷なる努力に心から敬意を表したい。

現在、教区や組の広域化が進む中であつては、その運営に関して様々な戸惑いや困難が生じてゐる旨の意見も寄せられているが、一方で、小規模な組や兼業住職の多い組においては、教化事業の活性化が感じられるようになったとの声や、新たな人の交流が生まれたとの前向きな意見も聞かれている。

教区改編は、新教区の発足をもつて終結するものではなく、むしろその後において、各教区の方々が環境の変化を真摯に受け止め、その中で自らの教区の将来像について語り合い、改編のもたらす意義やメリットを、自らの手で紡ぎだしていくことこそ教区改編の本義がある。

なお、新たな中央改編委員会に加えられた業務により、改編後の教区の

#### (3) 第3期改編教区について

第5期及び第6期中央改編委員会の報告書においても付記されているとおり、全17教区への改編後に想定される「第3期教区改編試案」については、これまでの試案に含まれていなかつた福井・大垣・三重の各教区を中心に、今後の改編時期及び編成内容を見定めていく必要がある。

この検討にあつては、既に教区改編が完了した教区や、これまで改編対象としては俎上に載せられてこなかつた一定規模を有する教区も視野に入れ、教区改編の中長期的展望を見据えつつ、引き続き議論を深め、第3期改編試案の作成を行財政改革の進捗状況も見定めつつ進めるべき必要がある。

そして、「17教区改編試案」の実現が見込まれる第8期以降の中央改編委員会においては、中央改編委員会の責務として、対象教区及び改編時期等に関する具体的な試案の作成と提示を行い、関係教区との協議を着実に進めていくことが肝要である。

#### (4) 各教区における組の改編について

組の改編に関しては、第6期報告書でも記されているとおり、いずれの教区においても教区と組がそれぞれの機能を有機的に發揮し、共同教化の実をあげるために、組の在り方について継続的な点検と検討が不可欠である。

今期中においては、九州教区における教区改編の取り組みでの継続した協議が重ねられていた三井西組、三井東組及び久留米組において、三井東組と久留米組の2カ組によつて久留米三井組へと改編がなされた。また、山陽四国教区の発足に際しては、旧四国教区中のうち東予組、松山組及び宇和島組が伊予組に改編されたほか、今期中には、改編関係教区ではない岡崎教区においても、第3組と第30組が改編し第3組となつた。

なお、東北教区においては、新教区発足後も継続して組の改編が課題化されている中で、教区改編委員会での議論を経て2024年度に

- 【資料編】 ※宗派公式ウェブサイトにて公開しています↓
1. 「地方協議会」「新教区準備委員会」の進捗状況
  2. 教区及び組の改編による変化 (2008年度・2025年度)

以上



「私たち、ちゃんと自分の“いのち”を生きていないと不安になります。自分がどう生きて、人生をどうするかは自分自身で決めなければいけません。どんなにうまくいくても自分で決めていない人生を生きると後悔が残ります。失敗を後悔する必要はありません。でも、自分で決めないで生きていくと、自分の人生でない人生を生きてしまう。それは自分で生きたことにならないので、これが一番の後悔となります。

大人になつた時に、子どもの頃から一生懸命打ち込んだことがあつたとしても、自分で決めていなければ自分になつたわけではありません。人がいいと思ったものに自分がなつただけで、自分をどこかに忘れてしまうということです。

その自分を忘れてしまつた時、自分の代わりに何かを探します。それは、自分というものを一緒に生きててくれるような仲間です。仲間を求めるのは自分のいない人です。小さい

いうのは単に南無阿弥陀仏と称えることだと思っているかもしれません。が、私は、「お前はちゃんと生きているのか」と問い合わせるのがお念仏です。

つた人たちが出会う時は、それぞれが自分というものを生きていますから、仲間になるわけではありません。仲間ではなくても、一緒に生きられるということが大事です。それは、一人一人が自分をちゃんと生きていることを認め合って、その人を尊重することがができるということです。私の人生は私だけのものです。でも、私の前にいるもう一人の人にとっては、その人の人生はその人だけのものです。どちらも尊い。それは自分のことが大切だと思うのと同じように、他の人が生きていることも大切だからです。だからといって、その人のために自分が何かをするということではなく、自分は自分のために生きるのです。自分のために生きるといった時、その自分が最初に言つたように、何か生まれてから死ぬまでずっと続いている自分でなければならぬ。今も、そしてこれからもずっと自分小さい時の自分と今の自分とを区別して、今の自分が大事だといふことはありません。生まれた時から今も、そしてこれからもずっと自分

分は続いていきます。そのずっと続いているいく自分、苦しいことや楽しいことや悲しいことがいっぱいあったかもしれません、そこに私は生きているといふことを、しっかりと感じさせるものがあります。

だって、生きているのは生まれてきたからです。生まれてきて、毎日毎日いろいろなことをしながら、一日一日生きているから生きているのです。その一日一日生きているということをしっかりと知ることができます。やがて年を取っていくと、自分はここにこうやって生きてきたのだということがわかります。それが自分が生きた跡になつて残ります。以外のどこかに残るわけじゃないですよ。自分の中に自分の生きた跡は残ります。

私たち死んだ後は無くなると思うかも知れないけれど、私の中にずっと育ってきた種は残ります。例えば、お花や野菜の種を植えたら芽が出て、やがて花が咲きます。花が咲いて実ができると、今度は実が種になり、その種が次の花になつて生きています。

ぜひ、種を作つてほしい。私が作った種はどうなるのか。その種はどこかに蒔かれ、蒔かれたところで、私はなくその種がまた伸びていく。それは私が一生懸命生きたのと同じように、どこかに生きる力となつて伝つていきます。

人がどんどん増え、世界中が戦争や気候変動で、動物たちも人間も生きられるかどうかわからないようなことになつてているけれども、それでも私たちが育てた種がどこかに蒔かれたら、それが生きる力となつて次の「いのち」になつています。それは人間の形を取るかどうかわかりませんが、「いのち」そのものの力になつてているのです。そういう種を育てていただら、私は生きたと、確かにここに大切なものが育つたのだよ、自分が生きていることが本当の意味で確かなものに変わるでしょう。その確かなものが必要なのです。

## 児童教化のページ

## シリーズ 真宗大谷派における児童教化 —子どもたちとともに、今までそしてこれからも—

- い 一、私たちは、仏の子どもになります。  
一、私たちは、正しいおしえをききます  
一、私たちは、みんな仲よくいたします

大谷派兒童教化連盟

596

2025年8月1日から4日にかけて、第35回朋ジニア大会が開催されました。本年度のテーマは「正義×正義」。講師の梶原敬一氏から2日間（8月1日・3日）にわたり、このテーマについて様々なおはなしがありました。

今回から3回にわけて、8月3日のおはなし（裏面）を掲載します。

「昨日、正しいとは誰もが正しいと思えることであり、自分たちだけ正しくなければならない。それを正しいと言い切るのは、自分が生きているということを本当に大切に思うからであり、それは自分自身を信じることだと言いました。

自分を信じるといつても、本当になくならないものを信じなければ、自分を信じることにはなりません。本当にくならないものは、生まれてからやがて死んでいくその間に変わらないで残っていくものです。その変わらないものを自分の中に信じることができたら、それは自分を信じるという形で正しいと言える。そ

されは「いのち」ということでしょうけれども、「いのち」が領くものでなければ正しいとは言えません。

ですから、いくら正義といって戦争の中で敵を殺しても、私の「いのち」はそれに耐えられないということを戦争に行つた人たちがみんななっています。人を殺すということに自分の「いのち」は耐えられない。不思議なことですが、「いのち」というのは相手の「いのち」を自覚したら、その「いのち」を殺すことはできないよう私たちの中で動いているようです。だから、人間はどんなにひどいことをしていても、本当の「いのち」に出会うと、その「いのち」を大切にしようとします。どんな人でも「いのち」を感じな

死ぬことが怖いという気持ち自体は、自分が生きていることを知つてゐるから起ります。「いのち」を持つてゐるから、私は死ぬということを知るのですね。それはどんな人もそうです。人間はみんなそう。  
親鸞聖人も比叡山で、「いのち」を持つて死んでいく時に、いたい私たちは本当にちゃんと死ねるのかどうか、死ぬのが怖くて逃げ出したくなってしまいたくなるが、自分をちゃんと生きられるのか」ということに若い時から悩まされているわけです。そこで出会われた教えがお念仏といわれています。お念仏とせんが、「いのち」とは何かということを考えるようになり、死を恐れることが無くなりました。

ます。人間も一緒に死んでいます。私たちには種が残るのです。その種が次の「いのち」になります。その種がずっと残っていくことが、私の中に生きたことが跡になって残るということです。

ぜひ、種を作つてほしい。私が作った種はどうなるのか。その種はどうかに蒔かれ、蒔かれたところで、私はなくその種がまた伸びていく。それは私が一生懸命生きたのと同じように、どこかに生きる力となつて伝つていきます。

人間がどんどん増え、世界中が戦争や気候変動で、動物たちも人間も生きられるかどうかわからないようなことになつていて、それが育つた種がどこかに蒔かれたら、それが生きる力となつて次の一の「いのち」になつています。それは人間の形を取るかどうかわかりませんが、「いのち」そのものの力になつていて、それが育つた種がどこかに蒔かれたら、それが生きる力となつて育つていて、私は生きたと、確かにここに大切なものが育つたのだと思ふが、「いのち」そのものの力になつていて、それが生きていることが本当の意味で確かなものに変わるでしょう。その確かなものが必要なのです。

生きている人はいません。なぜなら、自分が生まれたことで、やがて自分が死んでいくことを知つてゐるからです。自分がいつ死んでしまふかわからないということは、もう小学生ぐらいになると考へるかもしれません。僕自身は小学生ぐらいの頃に死ぬのがすごく怖かったです。毎日死ぬことを考へては、どうしたらしいのかと悩んでいました。やがて、それが解決したわけではありませんが、「いのち」とは何かということを考へるようになりました。死を恐れることは無くなりました。

死ぬことが怖いという気持ち自体は、自分が生きていることを知つているから起ります。「いのち」を持つて死んでいく時に、いつ死ぬのかどうか、死ぬのが怖くて逃げ出したくなつてしまいたくなるが、自分をちゃんと生きられるのか」ということに若い時から悩まされているわけです。そこで出会われた方がお念仏といわれています。お念仏と



**Be Real 寄りそう知性**  **大谷大学**

**大谷大学博物館 2025年度冬季企画展**

**「京都を学ぶ いにしえの歴史と伝承」**

冬季企画展は、例年「京都を学ぶ」と題して開催しています。本年は、平安京以前の時代にスポットをあて、京都の古代にまつわる所蔵品を展示します。一千年のみやこである京都は、さまざまな出来事や文化の中心地でしたが、みやことして出発する以前のことは、ほとんど知られていないのではないかでしょうか。本展覧会では、文献史料を中心に、考古遺物、拓本、絵図などもまじえながら展覧し、みやこが置かれる前にこの地に居住した人々や平安京へと遷都される経緯、また、聖德太子をはじめとした古代伝承などを紹介します。これらの展示品をとおして、いにしえの京都のすがたに思いを馳せていただければ幸いです。

開催期間：2026年1月10日(土)～2月14日(土)  
 時 間：10:00～17:00(入館は16:30まで)  
 休 館：日・月曜日 ※1月19日(月)は開館  
 観 覧 料：無料  
 問い合わせ先：大谷大学博物館 TEL:075-411-8483

**2026 3/22(日) オープンキャンパス開催!**

**保護者の方だけの// 参加も大歓迎**

**Welcome OPEN CAMPUS**

**大学紹介や学部別の学び紹介、キャンパスツアーなど 大谷大学のRealな学びを体験しよう！**

**PICK UP 小論文型入試セミナー**  
 小論文の書き方の基礎を知ろう！  
 総合型、公募、指定校等の小論文型入試を考えている高校生が対象！

詳細・事前申込みはこちらから ▶ 

大学HPはこちらからご覧になれます ▶ 

〒603-8143京都市北区小山上総町 入学センター      大谷大学 

TEL:075-411-8114 FAX: 075-411-8160  
 E-MAIL:nyushi-c@sec.otani.ac.jp

— 真 宗 —

**念珠かけた帰命の姿尊かり**  
 東本願寺前 販製販売

昔から良品安価で御信用いただいて居る

整店は真宗正式念珠を代々伝承製作の老舗

結御法御 婚披要儀 祝露記式 用用念用

内仏打敷、中啓

其経散 本華打敷、中啓

其他仏様用百貨具香

〒600-8506 京都市下京区舟町通馬丸東入  
 電話○七五三七一三五六番  
 FAX○七五三五二一三三六番

**北川与三兵衛商店**

お手本をなぞって  
 書いて学ぶ親鸞のことば

『歎異抄』「師訓篇」からととなる言葉を、ペンや鉛筆などでながら学べ、お一人でも、お寺の集いの場でも活用いただけるテキスト。平易な現代語訳、仏教語の注、読み解きのためのコラム付き。

**鶴見 晃 著**

**歎異抄**

B5判／56頁 定価：660円(税込)

当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。

**東本願寺出版**  
 〒600-8506 京都市下京区舟町通馬丸東入  
 TEL:075-371-9189 FAX:075-371-9211

詳しい書籍情報・試し読みは 東本願寺出版 検索 

想いを匠技でかたちにする

愛知県 長泉寺様  
 本堂屋根改修工事(チタンカナメ段付本瓦葺き)

**カナメの社寺建築**

**株式会社カナメ**  
 社寺新築・改修工事  
 チタン屋根 / 地震台風対策  
 太陽光発電など

本社  
 栃木県宇都宮市平出工業団地38-52  
 TEL.028-663-6300  
 名古屋支店  
 TEL.0586-71-2882  
 岡山支店  
 TEL.086-245-2541

 GOOD DESIGN  
 カナメチタン段付本瓦葺き

 SUSTAINABLE GOALS  
 カナメチタン段付本瓦葺き

**2026年度 募集コース**

	年間40日程度通学 土曜コース※2	夏期に30日間程度通学 夏期集中コース
修業年限	3年	4年
期 間	4月25日(土) ~ 2月	8月17日(月) ~ 9月13日(日)
授業時間	10:30~14:30	9:00~14:30
授業形態	各学年別授業	4年合同の授業 ※1
上山修研	8月29日(土)~31日(月)	
募集人数	30人程度	10人程度

※1 夏期集中コースは、1年生から4年生合同で交流を深めながら講義を受けます。各学年別の授業ではありません。

※2 土曜コースの募集は3年ごとに行います。規定の定員に達しなかった場合、開講しないこともありますので、ご了承ください。

※入学試験料は、本校地図の住民票を本学院事務局へ提出して下さい。(郵送可)。

※授業に必要な書類は、小論文・面接試験会場は大垣真宗学院で実施修練・補任にかかる費用が別途かかります。

TEL 0584-783363 FAX 0584-783353 E-mail ogaki@jigishihonganji.or.jp

お問い合わせ・所定用紙請求先 岐阜県大垣市伝馬町1番地

真宗大谷派大垣教務所内

QRコード

**大垣真宗学院生募集要項**

**目的**

本学院の教育は、大谷派教師資格取得を継として、教区内寺堂を中心とした指導とともに、眞の教師たる信心の行人たるんことを目指して行なう。

高等學校卒業またはこれと同等の学力を有すると認められた者

**出願期間**

夏期集中コース 2026年3月2日(月)~4月16日(木) 16時

土曜コース 2026年3月2日(月)~4月9日(木) 16時

入学試験料 2026年4月11日(土) 13時

夏期集中コース 2026年4月18日(土) 9時

入学試験料 2026年4月11日(土) 13時

入学料 2万円(入試当日に持参ください)

入学試験料 2万円(入学料10万円/年間授業料9万円/年間施設料1万円/年間教科料1万円/年間教科料1万円/年間教科料1万円)

※授業に必要な書類は、小論文・面接試験会場は大垣真宗学院で実施修練・補任にかかる費用が別途かかります。

**新案 須弥盛 (オリジナル商品)**

杉盛に簡単に組替えられます

**新案須弥盛の特徴**

「新案須弥盛」は、お華東を須弥型や杉盛に盛るための仏具です。「新案須弥盛」は芯棒を中心に食品サンプルと同じ素材で出来た餅板を重ねて出来ていますので、間にお餅を挟んだりしても違和感がありません。どこの部分までを仏具として使用されても、そのすべての使い方に対応出来るように設計されています。

「新案 須弥盛」の詳細は「京仏具大塚ホームページ」でどうぞ

御詠えの京仏具を真心こめてつくる店 京仏具大塚

TEL: 052-411-1247 FAX: 052-411-4124

E-MAIL: nyushi@doho.ac.jp WEB: https://www.doho.ac.jp/

御詠えの京仏具を真心こめてつくる店 京仏具大塚

TEL: 052-411-1247 FAX: 052-411-4124

E-MAIL: nyushi@doho.ac.jp WEB: https://www.doho.ac.jp/

**同朋大学** ~共なるいのちを生きる~

**同朋大学 別科(仏教専修)**

**~Special Programs of Buddhist Studies~**

明けましておめでとうございます。今号では同朋大学での別科(仏教専修)の学びについて紹介したいと思います。同朋大学別科は、全日制で真宗大谷派の教師資格を取得することができる全国で唯一の教育機関です。したがってその学びは濃密且つ充実したものとなっています。一週間の主なスケジュールは記載の時間割の通りですが、この他にも公開講座、学外研修、史跡踏査など、実際に重点を置いた実習も数多く実施しています。

その中でも、教化学(実践仏教)は同朋大学ならではの修学プログラムとなっています。たとえば、儀式作法と法話実習は、聴講者が来場する実際の講座の場で、別科生が勤行の調声をし、更に法話を行います。皆さん緊張します。だからこそ、事前準備は真剣です。そして入念に準備をするからこそ、実践の場を通して、得られる気づきが沢山あります。同朋大学では、こういった「場」を何よりも大切にしています。一年という限られた年限だからこそ、集中的に真剣に取り組める環境が重要です。ぜひ、同朋大学別科で共に真宗仏教を学んでみませんか?

**2025年度 別科時間割表 [J306]**

	月	火	水	木	金
10:00				勤行(声明の練習) 7階大谷派教師課程室	
2限 (10:40~12:10)	教化学演習 (A:安藤 弥 B:鶴見 晃)	佛教史 (澤崎 瑞矢)	真宗学講読Ⅲ (教行信証)(鶴見 晃)	真宗史 (安藤 弥)	仏教学講義 (福田 琢)
			昼休憩		
3限 (13:00~14:30)	差別問題 (副藤 浩)	真宗学講読Ⅰ (淨土三部經)(松山 大)	教化学講義 (市野 智行)	仏教学講義 (飯田 真宏)	真宗学講読Ⅱ (七祖教義)(黒田 浩明)
4限 (14:40~16:10)	声明作法Ⅰ (瀬尾 正寿)	真宗学演習 (A:澤崎 瑞矢 B:市野 智行)		真宗学講義 (杉浦 道雄)	声明作法Ⅱ (瀬尾 正寿)

**2026年度 別科選抜2期 入試要項**

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
2期	2月9日(月)~3月4日(水) [消印有効] (窓口受付:3月5日(木) 10:00~16:00)	2026年3月14日(土)	3月17日(火)	一括納入 3月18日(水) ~ 3月25日(水)

**2026年度 入学者選抜試験日程**

<文学部・社会福祉学部>

選抜試験	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜 1期(A方式)	1月5日(月)~1月21日(水) [消印有効] (窓口受付:1月22日(木) 10:00~16:00)	2026年1月31日(土)	2月5日(木)
一般選抜 1期(B方式)	2026年2月1日(日)		
大学入学共通テスト利用選抜 (前期)	1月14日(水)~2月2日(月) [消印有効] (窓口受付:2月3日(火) 10:00~16:00)	大学入学共通 テストの得点 のみを利用	2月13日(金)

※上記以外の試験制度もあります。詳しくは同朋大学Webサイトをご覧ください。

**同朋大学**

TEL: 052-411-1247  
FAX: 052-411-4124  
E-MAIL: nyushi@doho.ac.jp  
WEB: https://www.doho.ac.jp/

■大学院  
人間学研究科 仏教人間学専攻  
仏教文化分野／人間福祉分野／臨床心理分野

■社会福祉学部  
社会福祉学科  
心理学専攻／社会福祉専攻／  
子ども学専攻

■別科  
仏教専修

教 育 部

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地  
TEL.075-371-9193 FAX.075-371-9223

## 学階請求論文提出要項

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1 提出期間                           | 2026年2月2日(月)～27日(金) 各日9時～17時受付 (時間厳守) ※土・日・祝を除く   |
| 2 提出方法                           | <p>①持参の場合 事前に教育部まで提出日時をご連絡のうえ、請求者本人が下記5の提出書類、<u>下記7の冥加金を併せて持参し提出してください。</u></p> <p>②郵送の場合 提出期間内必着にて、下記5の提出書類のみを書留郵便にて送付ください。<u>下記7の冥加金は書類確認を経て受理が決定した後、振込にて納金となります (教育部から振込先口座をご案内)</u>。※体裁の不備により不受理の場合は料金着払いにて書類一式を返送します。</p>  |
| 3 提出先                            | 真宗大谷派宗務所 教育部 (〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地)  |
| 4 提出資格                           | <p>①学師請求論文 真宗大谷派教師であって大学卒業と同等以上の学力を有する者、又は進業を許可された者</p> <p>②擬講請求論文 学師授与から2年以上を経た者</p> <p>③嗣講請求論文 擬講である者</p> <p>※真宗学又は仏教学に関する刊行著述のある者は、論文による請求に準じて、当該刊行著述による嗣講請求ができるます。ただし、別途、提出にかかる要件がありますので、予め時間に余裕をもって教育部にご相談ください。</p>  |
| 5 提出書類                           | <p>①学階銘衡願 1通 (2020年度より様式変更。教育部までご請求、もしくは下記URLよりダウンロードください)</p> <p>②履歴書 1通 (2020年度より様式変更。教育部までご請求、もしくは下記URLよりダウンロードください)</p> <p>③最終学歴卒業証明書 (学師請求論文提出者のみ)</p> <p>④提出論文 4部 (下記6「体裁」に記載の要件を整えること)</p> <p>※学師請求論文提出者は、口述試問時に持参するものとして、さらに1部論文の控えをご用意ください。</p>  |
| 6 体裁 (体裁が整っていない場合は不受理となるので厳守のこと) | <p>(1) 字数 (出典や注は字数に含めない)</p> <p>①学師請求論文 20,000字以上50,000字以内</p> <p>②擬講請求論文 50,000字以上100,000字以内とし、副論文の添付を妨げない。</p> <p>③嗣講請求論文 字数は無制限とし、副論文の添付を妨げない。</p> <p>(2) 用紙<br/>「真宗大谷派論文用紙」を使用、もしくは同様の体裁で作成のこと。詳細は教育部までお問い合わせ、もしくは下記URLよりダウンロードが可能です。印刷してご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・真宗大谷派論文用紙(縦書) A4・40字×20行・12ポイント・上部余白(出典等記入欄)</li><li>・真宗大谷派論文用紙(横書) A4・40字×20行・12ポイント・下部余白(出典等記入欄)</li><li>・手書き用原稿用紙(縦書のみ) A4・20字×10行・上部余白(出典等記入欄)</li></ul> <p>(3) 表記、製本・引用等について</p> <p>①製本 片面印字とし、表紙をつけて和綴じ又は洋綴じで製本する(縦書論文は縦書表紙で右綴じ、横書論文は横書表紙で左綴じ)。表紙の様式は下記URLから見本を参照、もしくは教育部までお問い合わせください。</p> <p>②表記・引用・注釈等について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・目次を必ず付すこと。・句読点などの禁則処理を行う。</li><li>・引用文献は凡例と共に必ず明記する。</li><li>・引用は鍵括弧(英文やサンスクリットのローマ字表記などはクォーテーションマーク)で括る、または行を改め、2字下げで記す(この際、前後に空白行を設けない)。その他の引用表記を用いる場合は凡例に示すこと。</li><li>・聖教の出典は『真宗聖教全書』、『定本親鸞聖人全集』、宗派発行の『顕淨土真実教行証文類(翻刻篇)』、『宗祖親鸞聖人著作集』を基本とする。</li><li>・漢文の經典及び聖典は漢文のまま引用し、返り点などがある場合は省略せずに記入する。</li><li>・出典は原則、当該箇所の上下余白(縦書きの場合は上部・横書きの場合は下部)に記す。ただし、余白に収まらない場合は巻末もしくは章末にまとめて表記も可とする。</li><li>・注釈は、当該箇所の上下余白に脚注として記す、または後注として巻末もしくは章末にまとめて記す。</li><li>・論文用紙下部(手書き用紙の場合は左部記入欄)に頁番号を記入する。</li></ul> |
| 7 学事冥加金                          | <p>①学師 50,000円 ②擬講 70,000円 ③嗣講 100,000円</p>   |

8 口述試問 納入された冥加金は銓衡結果にかかわらず返金いたしません。学師請求論文提出者には口述試問を行います（口述試問の日時は論文提出後あらためて通知）。

9 銀行結果の通知 学階銀行会の審査を経て、2026年7月以降に書面をもって通知し

10 鑑査結果の通知 ご了承頂いた会員の登録料金の支払いと、2020年7月以降に会員登録をしておられる方へお送りします。

お問い合わせは、  
教育部 TEL: 075-271-0192

【お問い合わせ】 教育部 TEL:075-371-9193

学階銓衡願・履歴書・論文用紙は、こちらよりダウンロードいただけます⇒

<https://www.higashihonganji.or.jp/news/notice/000637>

(22)

		研修・会議名		担当部
		農田大谷高等学校	本山研修会	
御正忘報恩講讚仰法要音楽法要研修会		農田大谷高等学校	本山研修会	教育部
		農田大谷高等学校	本山研修会	教育部
計	4 団体	57	43	133 93
326	名	11 20 21	11 5 6	11 4 5
				期間

計1期間  
1団体  
1名

## 青少幼年センター

〒600-8164 京都府京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地 真宗教化センター しんらん交流館  
TEL.075-354-3440 FAX.075-371-6171

## 第63回 大谷スカウト名誉奉仕訓練開催要項

- 1 楽 楽 旨 親鸞聖人の教えに学び、ともに大谷スカウトとして自覚と自信を深め、仏教章取得に向けた一歩とする。
- 2 期 間 2026年3月26日(木)10時～29日(日)14時30分【3泊4日】
- 3 会 場 真宗本廟(東本願寺)同朋会館(TEL:075-371-9185)
- 4 スタッフ 団委員長:糟谷尚治(BS岡崎第3団)・隊長:清水康平(BS岡崎第3団)他
- 5 テキスト 大谷スカウト手帳 ※訓練当日までに購入し、事前に熟読の上ご参加ください。
- 6 募集人員 32名(ボーイスカウト24名・ガールスカウト8名)
- 7 参加資格 (1)大谷スカウト登録団に所属する者  
(2)大谷スカウト個人登録者及び個人登録予定者  
(3)原則としてボーイスカウトは、ベンチャースカウト以上であること  
(4)原則としてガールスカウトは、レンジャースカウトであること  
※大谷スカウト登録団に所属されていない方で参加希望の方は個人登録もお願いいたします。(個人登録費:3,000円)  
※仏教章取得済の方、過去に参加されたことのある方でもご参加いただけます
- 8 参 加 費 研修費:15,600円 ※当日受付にてご納入ください。
- 9 帰 故 式 礼金5,000円(20歳以下) ※希望者のみ。参加費と併せて受付時にお納めください。  
※受式を希望される方は、参加申込書と併せて帰敬式受式申請書をご提出ください。
- 10 申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、最寄りの教務所までお申し込みください。  
※用紙は、各教務所及び青少幼年センターにあります。
- 11 申込締切 2026年2月13日(金) 青少幼年センター必着  
※定員になり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。
- 12 受 付 3月26日に、しんらん交流館ロビーにて行います。  
参加費・帰敬式礼金(帰敬式受式希望者のみ)・健康調査カード・健康チェック表・行動記録シート・参加許可証(申込受付後、ご本人宛に送付いたします)をご持参ください。
- 13 旅費補助 後日最寄駅から京都駅までのJR片道学割普通運賃を送金します。
- 14 服 装 制服とする(制服は不要)。記章類を正しくつけてください。
- 15 携 行 品 念珠・大谷スカウト手帳・スカウト歌集・筆記具・腕時計・健康保険証・寝間着・洗面用具(入浴用具)・雨具・常備薬・活動着(下着・Tシャツ等)・長ズボン(ジーンズまたは綿パン)・防寒具(野外用と室内用)・ハイキング用ショルダーバッグまたはハバザック・ハイキングに適した運動靴・マイカップ・その他3泊4日に必要なもの
- 16 注意事項 ①新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ罹患者などの方は参加をご遠慮ください。  
②当研修会はバトロールシステムで実施いたします。  
③携行品以外で訓練に必要なものは、お預かりいたします。(携帯電話、パソコン、お菓子など)  
④アレルギーのある方は申込書(別紙)の備考欄に記入ください。  
⑤ボーイスカウト・ガールスカウト合同での訓練となりますのでご承知おきください。  
また、やむを得ず遅刻・早退される場合は下記までお電話ください。  
⑥近年、携行品の忘れ物や服装の乱れが目立ちますので留意の上ご参加ください。

【お問い合わせ】 〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199 しんらん交流館内

青少幼年センター TEL:075-354-3440(直通)  
E-mail:oyc@higashihonganji.or.jp

## 〈帰敬式について〉

仏教章の取得にあたり、日程中にぜひ帰敬式(おかみそり)を受けましょう。住職選定法名と本山選定法名のいずれかにより受けることができます。

受式を希望される方は、参加申込書と併せて帰敬式受式申請書をご提出ください。

(20)

## 解放運動推進本部 女性室

〒600-8164 京都府京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地 真宗教化センター しんらん交流館  
TEL:075-371-9247 FAX:075-371-6171

## 2025年度「真宗 女性僧侶の集い」開催要項

## ～話そう、つながろう、私たちの広場で～

「真宗 女性僧侶の集い」は、広く法務にたずさわるすべての女性僧侶に呼びかけ、横のつながりを作り、お互いの声を聞き合ながら、宗門がどのようなかたちであつたらいいかを考えていきます。

住職に限らず、法務にたずさわっている女性どうしで、肩の力を抜いてゆっくりと語り合い、お寺でのままで自分を生きることができますように、有意義な場となることを願って開催いたします。

1 日 時 2026年3月3日(火) 13時30分～17時

2 開 催 方 法 Zoom

3 参 加 費 無料

4 対 象 者 女性住職・代務者、法務にたずさわる女性

5 定 員 30名

6 日 程 13:00 Zoom接続開始

13:30 開会式

13:45 趣旨説明(女性室)

14:00 語り合い(班別座談)

※参加者の興味関心のある内容を聞き取ったうえで、班分けをさせていただきます。以下の項目のうち、興味関心のあるものすべてにチェックしてください。

- ①儀式声明 ②教学教化 ③継承問題 ④子育て・介護 ⑤家族との関係 ⑥門徒との関係 ⑦坊守について ⑧組会・坊守会 ⑨教区との関わり ⑩お寺での取り組み(教化の工夫) ⑪その他(自由記述)  
(休憩) ※各班15:20終了予定

15:40 全体会

16:20 閉会式

16:30 終了

※日程中、適宜休憩をとります。また日程を変更する場合がありますので、ご了承ください。

右記申込フォームをご使用ください。フォームを使用できない方は、



別途メールまたはお電話にて解放運動推進本部女性室までご相談ください。※申込後に申込完了メールをお送りいたします。メールが届かない場合は、恐れ入りますが下記の連絡先までご連絡ください

ますようお願いいたします。

2026年2月5日(木)必着

①Zoomの使用にあたっては、インターネット環境が必要です。有線・Wi-Fiのご利用をお薦めします。

②当日のZoomのURL等については、お申し込み後こちらからご案内させていただきます。また、女性室からのメールは担当者の個人メール(パソコン)から送信します。迷惑メール対策等で、パソコンからのメール受信を制限している方は、設定の変更をお願いします。

解放運動推進本部 女性室

TEL:075-371-9247 / FAX:075-371-6171 / E-mail:kaiho@higashihonganji.or.jp

(21)

# 雪に愉しむ池の平 with 子ども報恩講

みなさん、池の平で雪を愉しませんか？ 雪は私たちに苦しみばかりでなく、愉しみも与えてくれます。今年もスタッフの手作りによる「すのこぞり」を使っての競技大会と「子ども報恩講」をお勧めします。

ご家族または、子どもたちだけでの参加も受付します。勇気を出して妙高の大自然の中へ、さあ、いっしょに出かけましょう!!

1 期 間 2026年2月28日(土)～3月1日(日)

2 会 場 池の平青少幼年センター

3 対 象 子ども(家族での参加もOK。アルペンスキーができない子どもや幼児には、オプションとして雪を使った遊びをたくさん用意しています)

4 参 加 費 大人7,000円、子ども(高校生まで)5,000円、幼児(未就学児)3,000円

日帰り3,000円(大人・子ども同額)

※参加費には1泊2日分の宿泊・食事・保険代を含みます。1日のリフト代・貸スキーダ等は別途必要となります。

5 募集人員 先着20名

6 申込締切 2026年2月16日(月)※定員になり次第、締め切ります。

7 持ち物 念珠、防寒具、雨具、長ぐつ、スキーセット(アルペン)、保険証、パジャマ、洗面具、体温計、マスクなど感染症対策に必要と思われるもの



報恩講のおつとめ

時間	2月28日(土)	3月1日(日)
6:00		起床・洗面・清掃 お朝事・朝食
9:00	(当日会場に集合ください)	アルペンスキー 昼食(センター) 解散(13:30)
11:00	受付	
12:00	昼食(センター) 開会式 すのこぞり試乗 自家製みそ作り体験 子ども報恩講 夕食(お齋)	
16:30	すのこぞり(距離) 表彰式	
20:00	フィナーレ:花火大会	
21:00	入浴	
	就寝	



## お申し込み・お問い合わせ

新潟教区 高田教務事務所内  
池の平青少幼年センター係  
〒943-0892 新潟県上越市寺町2-24-4  
TEL:025-524-3913  
FAX:025-524-2645

◆東本願寺 池の平青少幼年センター  
[車] 上信越自動車道・妙高高原インター  
より7分  
[電車] えちごトキめき鉄道・しなの鉄道  
「妙高高原駅」下車  
バスまたはタクシーで10分

※天候により日程を変更することがあります。

※部分日程の参加も受付します。

〈主催:池の平青少幼年センター/協力:真宗大谷派青少幼年センター〉

(18)

〒949-2112 新潟県妙高市大字間川2283番地  
TEL:0255-86-2801 FAX:0255-86-2846

## 池の平青少幼年センター

# 今年も天気になあれ めざせ!! サンライズスキー

## 第37回スキー学校／併設スノーボード班

白樺林にも初雪が降り、ゲレンデがスキーヤーでにぎわう季節となりました。いよいよ今年で37回目を迎える池の平青少幼年センター主催の「スキー学校」を、下記の日程で開校いたします。

1 期 間 2026年2月3日(火)～5日(木)

2 会 場 池の平青少幼年センター

3 参 加 費 大人10,000円、子ども(高校生まで)9,000円

※参加費には2泊3日分の宿泊・食事・保険代を含みます。

日程中の昼食代・リフト代は別途必要となります。

4 募集人員 先着15名

5 申込締切 2026年1月26日(月)

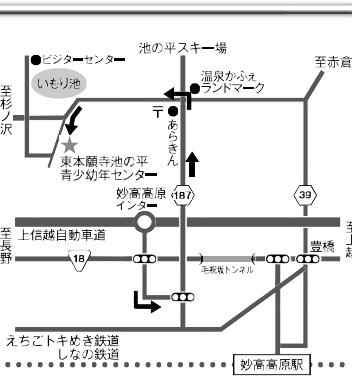
6 持ち物 念珠、スキーまたはスノーボード用具一式、保険証、パジャマ、洗面具、体温計、マスクなど感染症対策に必要と思われるもの。



スキーを楽しむ子どもたち

※貸スキー、貸スノーボード等をご利用の方は、身長・靴のサイズをお申し出ください(有料)。

時間	3日(火)	4日(水)	5日(木)
6:30			
8:00			
(当日会場に集合ください)			
13:00			
		起床・お朝事・朝食	
			クラス別スキー教室
			昼食
			閉会式(会場にて)
17:00			
19:00			
		夕事勤行・夕食	
			夕事勤行・夕食
		ビデオ学習	
		自由時間	
		ビデオ学習	
		自由時間	
21:00			
		入浴・就寝	
			入浴・就寝

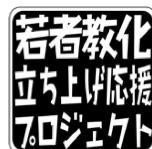


※都合により日程を変更することがあります。

〈主催:池の平青少幼年センター〉

(19)

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讚継続事業  
**若者教化立ち上げ応援プロジェクト  
募集要項**



若者と出合い、教えに聞く場を共にひらきたい!  
 そんなあなたの思いをかたちにする応援プロジェクトです。

**一人の若者を誘って共に聞法の座につく**

「若い人にもお参りしてほしい」、「お寺で青年会を立ち上げたい」、「同世代の若者と教えを聞いていきたい。だけど、どうしたらいいんだろう?」

若者と精進料理を作り、佛教を語り合う場や、若者をさそい講師のお話を聞いての座談会、子育て世代の方を対象とした集いや、ウェブ会議システムを利用して若者と教えを聞く場がこのプロジェクトで立ち上がっています。ぜひ青少幼年センターまでご連絡ください。

あなたと若者との出合いの場と一緒に準備していきませんか?

- 1 対 象** 寺院、組、別院、有志の会（真宗大谷派僧侶・門徒によるもの）  
**2 募 集** 70会所（2023年度～2025年度）※残：14会所（2025年12月現在）  
 ※本プロジェクトは募集定数に達するまで継続して実施します。  
 (2026年6月にて終了)  
**3 内 容** ①必要に応じて、寺院活性化支援員が事前相談に伺い、状況に合わせた方法を共に考えます。（事前相談に係る寺院活性化支援員派遣費用は、下記経費とは別途企画調整局にて負担します）  
 ②事業の講師・スタッフ等の経費を補助します。  
 (1会所 上限55,000円)  
**4 応募方法** 青少幼年センターへご連絡ください。

**青少幼年センター**

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199  
 しんらん交流館内  
 T E L 075-354-3440 F A X 075-371-6171  
 メール oyc@higashihonganji.or.jp

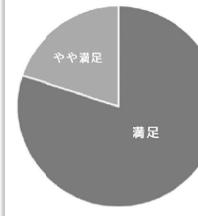


## 第3回「真宗トーカ」アプリで対話カフェ



～問い合わせはじまるコミュニケーション～参加者募集!

真宗トーカアプリの  
 体験について満足度を  
 教えてください



「真宗トーカ」アプリで対話カフェは、テーマをもとに短い対話を重ねるユニークなコミュニケーション体験です。画面に示されたお題に沿って、それぞれの考えを1分間で語り、それに対して他の参加者がカードを使って感想を共有します。多様な視点から心を開き、対話の大切さを再認識してみませんか?

この体験では、カード形式で行っていた「真宗トーカ」をウェブアプリ化し、オンラインで対話を楽ししながら、「聞き合う場づくり」を体験します。お寺の行事や同朋の会などで、対話のきっかけづくりとしても活用されることを願いとしています。ぜひ、お気軽にお申し込みください。

**1 日 時** ①2026年2月17日(火) 16時～18時  
 ②2026年3月5日(木) 16時～18時

**2 会 場** オンライン (Zoom)

**3 対 象** 真宗大谷派に属する寺院の僧侶・寺族・門徒

※スマートフォンが使い、それ以外のPC等でZoomに参加できる方

**4 内 容** 「真宗トーカ」(アプリ版)を使ったオンラインの対話コミュニケーション体験会

**5 定 員** 各回12名 (先着順)

**6 参加費** 無料

お申し込みフォーム  
 はこちら→



【前回の参加者からはこんな声がありました!】

- 話す、聞く、場の信頼というお寺に求められていることが体感できた。
- スマホ操作に不慣れで不安もあったが、比較的使いやすかった。
- 対話をとおして自分の思いを言葉にし、一人一人から感想を頂戴する仕組みは面白かった。



「真宗」トーカアプリの  
 詳細はこちら→



※参加者には特典として、カード版の  
 「真宗トーカ」を1部贈呈します。

**【お問い合わせ】**

真宗教化センター寺院活性化支援室（寺院運営活性化支援担当）

E-mail : kyokacenter\_shienshitsu@higashihonganji.or.jp TEL : 075-371-9208

## 真宗本廟奉仕のご案内

「同朋会館」は、全国から集う方が寝食を共にし、親鸞聖人の教えを聞き、真宗門徒の生活を習う聞法の道場です。ご門徒・お友達を誘って、真宗本廟奉仕にご参加ください。

お申し込みは上山希望日の40日前までに行ってください。

テーマのある奉仕団のお申し込みはこちら…



### テーマのある真宗本廟奉仕のご案内

◆真宗本廟おみがき奉仕団 申込締切：2026年1月22日(木)

【2泊】3月2日(月)～3月4日(水)／【1泊】3月2日(月)～3月3日(火)

春の法要を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを両堂の縁で行います。

◆真宗本廟春の法要奉仕団 申込締切：2026年2月21日(土)

【2泊】4月1日(水)～4月3日(金)／【1泊】4月1日(水)～4月2日(木)

宗祖親鸞聖人の御誕生を縁とした親鸞聖人御誕生会（音楽法要）や全戦没者追弔法会等の「春の法要参拝」を中心とした奉仕団です。

【参加費】（2泊3日）18,000円、米2kg（1升4合）または米代1,300円

（1泊2日）13,000円、米1.2kg（8合）または米代800円

※上記は大人（15歳以上）の場合です。

●真宗本廟奉仕施設の利用について…



●「縁」—納骨・帰敬式同朋会館宿泊プラン…  
納骨・帰敬式でのご参拝の際、同朋会館にご宿泊いただけます。



【研修部（同朋会館） TEL：075-371-9185】

## 現在受付中の募集・開催要項等

詳細は本誌もしくは宗派公式ウェブサイトをご覧ください。

◆第14回世界同朋大会のご案内（本誌10月号39頁）

申込期間：2025年9月1日(月)～2026年3月31日(火)

組織部（国際室）【TEL：075-371-9187／E-mail：kokusai@higashihonganji.or.jp】



### 組織部（国際室）

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地  
TEL:075-371-9187 FAX:075-371-9194

## 南米開教区 開教使募集要項

真宗大谷派では、広く海外に教法を宣布し、人材を養成し、教化の拠点を開くため開教区を設けています。その中で、各開教区の現場において、現地の事情に適応し、宗祖親鸞聖人の立教開宗の精神に基づき、自信教人信の実践により同朋社会を顕現するため活動していただける方を「開教使」として派遣しています。

1 募集教区 南米開教区

2 募集人数 若干名

3 応募資格 ①ポルトガル語またはスペイン語のできる者、または習得意欲があり、現地での教化伝道に、特に熱意を有する者  
②大谷派教師資格を有する者（査証取得条件）

4 応募必要書類 ①履歴書（下記QRコードよりダウンロードしてください。）

②応募動機（1,200字程度）

③最終学校卒業証明書または卒業見込証明書

④最終学校成績証明書

⑤写真（上半身・3ヵ月以内撮影のものを履歴書に貼付のこと）

5 応募方法 上記必要書類を揃え、組織部（国際室）へ提出してください。

6 応募期限 随時募集（派遣者が定員に達した時点で募集を終了いたします）

7 選考会 一次試験：WEB適性検査

二次試験：筆記及び面接（会場：真宗大谷派宗務所）

※選考会日時及び試験詳細は応募書類受理後、個別に通知します。

8 その他 ①派遣先の入国申請に係る査証発行には1～2ヵ月間を要します（査証発行費は宗派負担）。

②査証発行手続き中、研修に参加いただきます（研修期間中の手当並びに渡航費・手続費・支度金を支給）。

③研修後、開教使としての任命前に一定期間開教使補として試用期間があります。勤務状況により、開教使の任命を行わない場合があります。

④開教活動に資するための教化手当を支給します（年1回）。

〈海外開教区及び開教使の活動については、下記宗派ウェブサイトよりご覧ください〉

### 【お問い合わせ】組織部（国際室）

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 真宗大谷派宗務所内  
TEL:075-371-9187 MAIL:kokusai@higashihonganji.or.jp



## 大谷祖廟(親鸞聖人御廟所)のご案内

大谷祖廟は親鸞聖人の御廟所であり、聖人をはじめ、本願寺の歴代、全国各地の寺院・ご門徒の方々のご遺骨が納められています。

開門：5時 閉門：17時

納骨・永代経・読経受付時間 8時45分～11時30分／12時45分～15時30分

※11時30分～12時45分までは受付を休止しています。

永代経法要 毎日14時30分～15時 定例法話 毎月13日・28日 (8/13, 9/28, 11/28, 12/28は休止)  
永代経法要後

### 納骨・永代経



※外装を除く、高さ15cm・直径9cm（3寸壺以下）を超える容器であり、1種から4種で納骨のお申込みをされる場合は、納骨体数毎に志納額に20,000円を加算してご志納いただきます。  
※改葬（墓じまい等）の場合は容器の大小問わず、志納額に20,000円を加算してご志納いただきます。  
※納骨された遺骨はお返しすることができません。

種別	志納額	読経	お取り扱い
別座1等	1,000,000円以上	別座読経	納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会・盂蘭盆会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に30年間案内状送付
別座2等	500,000円以上		納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に20年間案内状送付
別座3等	300,000円以上		納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に10年間案内状送付
別座4等	150,000円以上		毎月の命日に永代読経 祥月命日に10年間案内状送付

種別	志納額	志納額 【容器大／改葬】	読経	お取り扱い
1種	100,000円以上	120,000円以上	一座読経	毎月の命日に永代読経。祥月命日に10年間案内状送付
2種	70,000円以上	90,000円以上		祥月命日と彼岸会（春または秋）に永代読経
3種	40,000円以上	60,000円以上		彼岸会（春または秋）に永代読経
4種	20,000円以上	40,000円以上		永代経のお取り扱いはございません

### 改葬納骨志

「墓じまい」等に伴って、改葬されたご遺骨を受付する際に、「法名」・「俗名」・「命日」等の情報が一切不明の場合、改葬納骨志20万円以上のご志納により受付させていただきます。  
詳細内容を確認させていただくため、改葬納骨志を希望される場合は、事前に大谷祖廟事務所までお問い合わせください。

## 読経

(お経のみのお扱いです)



種別	志納額	場所	読経の扱い
賀慶殿別座読経	70,000円以上	賀慶殿	別座読経
茶所別座読経	50,000円以上	茶所仏間	別座読経
本堂読経	7,000円以上	本堂	一座読経
茶所読経	5,000円以上	茶所仏間	一座読経
御廟読経	5,000円以上	御廟	一座読経
総経	1,000円以上	御廟	夕刻に総じて読経

●団体参拝について…



●仏前結婚式について…



●施設利用について…



大谷祖廟事務所 〒605-0071 京都市東山区円山町477  
TEL : 075-561-0777 FAX : 075-533-0780



## 真宗教化センター しんらん交流館のご案内

教化情報の発信・交流の拠点として、人と人とをつなぐ地域に開かれた行事を開催しています。

東本願寺日曜講演 9時30分～11時

1月18日 京都教区真廣寺住職 竹中慈祥氏「ふたつのいのち」

1月25日 大谷大学名誉教授 門脇 健氏「最後の親鸞」の難しさ—吉本隆明の伝言—

※1月4日・11日は休会

◆月刊聞法誌「ともしび」(東本願寺日曜講演や親鸞聖人讃仰講演会の抄録を掲載)

2026年1月号「真実証」の現実義 池田勇詮氏(同朋大学名誉教授)

1部165円(税込・送料別)

お申し込みは東本願寺出版(TEL:075-371-9189)まで

『ともしび』は2026年1月号より価格・判型を変更しました。詳しくは本誌10頁をご覧ください。

しんらん交流館定例法話 お勤め14時～、法話14時30分～15時30分(毎月12日・27日は10時～)

※毎週火曜日・12月26日～1月10日休会。その他都合により休会する場合があります。

1月の日程はこちら…



電話相談「東本願寺 いのちとこころの相談室」 毎週木曜日13時～17時

皆さまのお悩み・ご相談をお聞きします。TEL:075-371-9280

東本願寺文庫・絵本コーナー 9時～16時30分 絵本コーナーの閲覧は17時まで

書籍・絵本の閲覧、貸し出しを行っています。

浄土真宗ドットインフォ(しんらん交流館ホームページ)のご案内

お寺のサポート情報・浄土真宗の教えにふれる情報を配信しています。



真宗教化センター しんらん交流館 [開館時間／9時～17時 休館日／毎週火曜日]  
〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地  
TEL:075-371-9208 メール:shinrankoryukan@higashihonganji.or.jp

## 真宗本廟 参拝接待所のご案内

真宗本廟収骨・読経・帰敬式・お斎・団体参拝の受付を行っています。【開所時間／9時～16時】  
〔真宗本廟開門・閉門時間／3月～10月：5時50分～17時30分、11月～2月：6時20分～16時30分〕

各種お申し込み受付時間・お取り扱いの予定は本誌48頁～49頁



### 真宗本廟収骨

法義相続・本廟護持を願いとする相続講金を12万円以上お納めいただきますと、その御扱いとして、御影堂の宗祖親鸞聖人御真影のもとに、ご遺骨をお収めさせていただきます。

- 事前の手続き**
- ①相続講金をお手次ぎ(所属)の寺院・教会をとおしてお納めいただき、所定の手続きの上、「真宗本廟収骨證」の発行を受けてください。参拝接待所では、「収骨證」発行の手続きをしておりません。必ず事前手続きを行ってください。
  - ②「収骨證」発行の際に配布される参拝案内冊子「参拝される皆さまへ」(真宗本廟収骨・読経取り扱い表付)を参照の上、参拝される3週間前までに宗派公式ウェブサイトから届出いただくか、事前届出ハガキに参拝予定日・参拝人数等をご記入いただき、参拝接待所までご送付ください。
- ※「収骨證」1枚につき、1体のお収めとなります。

- 当日の受付**
- ①ご遺骨に「収骨證」を添えて、受付時間内に参拝接待所にて手続きください。
  - ②ご遺骨は参拝接待所にて7cm角の桐箱にお移し替えいたします。お収めしたご遺骨はお返しできません。また桐箱の容量を超えるご遺骨はお返しすることになります。

### 《お斎付真宗本廟収骨について》

※相続講金を1体につき30万円以上お納めいただきますと、規定人数分(3名)のお斎の接待があります(要事前申込)。  
詳細は教務所または参拝接待所までお問い合わせください。



### 本山読経

**本山永代経** 御影堂にて永代経の御紹解(初めての読経)を行い、「法名記」に登載します。  
以後、春・秋彼岸会中にお勤めする「永代経総経」にご案内いたします。

**御影堂読経** 御影堂にて一座読経いたします。  
受付時に法名紙をお渡しし、代表者に法名を清書いただきます。法名紙は読経の際(焼香時)に広蓋に納めていただきます。

**仏間読経** 参拝接待所仏間にて一座読経いたします。参拝接待所受付に当日お申込みください。

※都合により読経場所を変更する場合があります。

種別	読経志	読経扱	お斎接待
別座特等	1,000,000円以上	完全別座	希望数
別座一等	500,000円以上	別座	10食
別座二等	300,000円以上	別座	5食
別座三等	200,000円以上	別座	3食
四等	100,000円以上	一般	なし
五等	50,000円以上	一般	なし
御影堂読経	30,000円以上	一般	なし
仏間読経	10,000円以上	隨時	なし

(10)

### 〈本山永代経・御影堂読経の事前の手続き〉

- ①読経志をお手次(所属)の寺院・教会をとおしてお納めいただき、所定の手続きの上、「永代経御紹解證」・「御影堂読経参詣證」の発行を受けてください。
  - ②「永代経御紹解證」・「御影堂読経参詣證」発行の際に配布される参拝案内冊子「参拝される皆さまへ」(真宗本廟収骨・読経取り扱い表付)を参照の上、参拝される3週間前までに宗派公式ホームページから届出いただくか、事前届出ハガキに参拝予定日・参拝人数等をご記入いただき、参拝接待所までご送付ください。
- ※本山永代経四等、本山永代経五等、御影堂読経は当日申込できます。

### 〈本山永代経・御影堂読経の当日の受付〉

- 「永代経御紹解證」または「御影堂読経参詣證」を必ず持参の上、受付時間内に参拝接待所にて手続きください。
- 《完全別座読経について》 読経志100万円以上お納めいただきますと、親族のみでの別座にて読経の上、希望数のお斎の接待があります(要事前申込)。
- 《別座読経について》 読経志を20万円以上お納めいただきますと、別座(同日に他に別座の申込がある場合はご一緒に案内)にて読経の上、上記のとおりお斎の接待があります(要事前申込)。
- ※完全別座、別座の受付は10時までとなります。当日は10時までに受付をお済ませください。

### 帰敬式



帰敬式は、仏・法・僧の三宝に帰依し、仏弟子となる大切な儀式です。  
真宗本廟では、基本的に毎日、午前と午後に執行しています。

**当日の受付** 参拝接待所にて9時から受付をいたします。

**お礼金** お一人10,000円(20歳以下5,000円)

- お斎について .....  
精進料理のお膳を書院でお召し上がりいただけます。

- 真宗本廟団体参拝について .....  
諸般拝観や清掃奉仕等を通して、真宗の教えにふれていただくことを願いとしています。

### 晨朝法話・真宗本廟法話

晨朝【阿弥陀堂及び御影堂】毎日7時～ 晨朝法話【御影堂】毎日7時30分頃～  
真宗本廟法話【視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間】

通常：10時10分～/13時10分～ 連夜日(12日・27日)：13時10分～

御命日(28日)：9時30分～

法要・法話のご案内...



参拝接待所ギャラリー 9時～16時 入場無料

「修正会展」12月27日(土)～1月15日(木) 「親鸞聖人のご生涯」(常設展)

涉成園(枳殻邸)

開園時間(3月～10月) 9時～17時(受付は16時30分まで)

(11月～2月) 9時～16時(受付は15時30分まで)

庭園維持寄付金 一人700円以上(高校生・中学生300円以上、小学生以下無料)

[本廟部・参拝接待所 TEL: 075-371-9210]



涉成園

(11)

※帰敬式について、住職選定法名での受式をご希望の場合は、受式の1ヵ月前までに参拝接待所までお申し込みください。

2026年2月

真宗本廟 収骨・読経・帰敬式 受付時間表

受付	収骨・読経		帰敬式		法話		備 考
	午前	午後	午前	午後	10:10	13:10	
日曜	10:10まで	13:10まで	10:10まで	13:10まで	10:10	13:10	
1 日	●	●	●	×	●	●	實如上人御祥月命日逮夜
2 月	●	●	●	●	●	●	
3 火	●	●	●	●	●	●	
4 水	●	●	●	●	●	●	
5 木	×	×	×	×	×	●	彰如上人御祥月命日逮夜
6 金	●	●	●	●	●	●	
7 土	●	●	●	×	●	●	現如上人御祥月命日逮夜
8 日	●	●	●	●	●	●	
9 月	●	●	●	●	●	●	
10 火	●	●	●	●	●	●	
11 水	●	●	●	●	●	●	
12 木	×	(14:10)	×	(14:10)	×	●	午前御莊嚴 先門首御命日逮夜
13 金	●	●	●	●	●	●	
14 土	●	●	●	×	●	●	歌徳院殿御命日逮夜
15 日	●	●	●	●	●	●	
16 月	●	●	●	●	●	●	
17 火	●	●	●	●	●	●	
18 水	●	●	●	●	●	●	
19 木	●	●	●	●	●	●	
20 金	●	●	●	●	●	●	
21 土	×	×	×	×	×	●	午前御莊嚴 乘如上人御祥月命日逮夜 聖徳太子御祥月命日逮夜
22 日	×	×	×	×	×	×	聖徳太子御祥月命日日中 御莊嚴払い
23 月	●	●	●	●	●	●	
24 火	●	(14:10)	×	(14:10)	●	●	善如上人御祥月命日逮夜(引上)兼 蓮如上人御命日逮夜
25 水	●	●	●	●	●	●	
26 木	●	●	●	●	●	●	
27 金	×	(14:10)	×	(14:10)	×	●	午前御莊嚴 宗祖聖人御命日逮夜
28 土	●	×	●	×	9:30	×	宗祖聖人御命日日中 住職任命式

— 真 宗 —  
2026年(令和8年)1月 48

受付	収骨・読経		帰敬式		法話		備 考
	午前	午後	午前	午後	10:10	13:10	
日曜	10:10まで	13:10まで	10:10まで	13:10まで	10:10	13:10	
1 日	●	●	●	●	●	●	
2 月	×	×	×	×	●	●	
3 火	×	×	×	×	×	×	おみがき
4 水	●	●	●	●	●	●	
5 木	●	●	●	●	●	●	
6 金	×	●	×	●	●	●	得度式
7 土	●	●	●	●	●	●	
8 日	●	●	●	●	●	●	
9 月	●	●	●	●	●	●	
10 火	●	●	●	●	●	●	
11 水	●	●	●	●	●	●	
12 木	×	(14:10)	×	(14:10)	×	●	午前御莊嚴 先門首御命日逮夜
13 金	●	●	●	●	●	●	
14 土	●	●	●	●	●	●	歌徳院殿御命日逮夜
15 日	●	●	●	●	●	●	
16 月	×	×	×	×	×	×	御莊嚴
17 火	【春季彼岸会】 取骨・読経について お取扱いはありません (仮間読経のみお取扱いがあります)。		(9:30)	×	9:20	●	
18 水			×	×	9:20	●	
19 木			×	×	9:20	●	
20 金			(9:30)	×	9:20	●	
21 土	ご遺骨を持参された 場合、参拝接待所にてお預かりし、24日に お取扱いいたします。		×	×	9:20	●	
22 日			(9:30)	×	10:15	●	永代經縁
23 月			(9:30)	×	9:20	×	午後御莊嚴払い
24 火	×	(14:10)	●	(14:10)	×	●	午前御莊嚴 蓮如上人御祥月命日逮夜
25 水	●	×	●	×	9:30	×	蓮如上人御祥月命日日中 午後御莊嚴払い
26 木	●	●	●	●	●	●	
27 金	×	(14:10)	×	(14:10)	×	●	午前御莊嚴 宗祖聖人御命日逮夜
28 土	●	×	●	●	9:30	×	宗祖聖人御命日日中
29 日	●	●	●	●	●	●	
30 月	●	●	●	●	●	●	
31 火	×	×	×	×	×	×	御莊嚴

名古屋教区 第21組 静雲寺  
前住職 坂倉 宣雄  
2025・9・13寂 (84歳)

名古屋教区 第30組 景勝寺  
前住職 松平 龍温  
2025・8・20寂 (90歳)

京都教区 山城第3組 善福寺  
前住職 井上 都  
2025・10・7寂 (65歳)

京都教区 近江第26組 淨榮寺  
前住職 武田 昭雄  
2025・8・31寂 (96歳)

山陽四国教区 第4組 教福寺  
前住職 鶩野 正紀  
2025・9・26寂 (85歳)

## 坊守及び前坊守

北海道教区 南第3組 開正寺  
前坊守 金石 博子  
2025・8・23寂 (83歳)

北海道教区 第12組 玄明寺  
前坊守 鍋島 奉子  
2025・3・16寂 (97歳)

東北教区 秋田県中央組 善法寺  
前坊守 寺崎 光子  
2025・9・11寂 (91歳)

東京教区 栃木組 常敬寺  
前坊守 日野 和子  
2025・7・6寂 (96歳)

新潟教区 第21組 念佛寺  
坊守 斎藤 美紀  
2025・2・3寂 (47歳)

新潟教区 第22組 善行寺  
前坊守 色部 唱子  
2025・9・12寂 (93歳)

能登教区 第7組 明榮寺  
前坊守 寺路 キク  
2024・11・6寂 (93歳)

金沢教区 第8組 圓長寺  
坊守 藤島 志津子  
2025・6・3寂 (81歳)

金沢教区 第11組 龍賢寺  
坊守 廣瀬 季  
2025・8・27寂 (70歳)

岡崎教区 六ツ美組 淨妙寺  
前坊守 天白 寛子  
2025・9・20寂 (94歳)

岡崎教区 第21組 警頭寺  
前坊守 小林 美子  
2025・9・9寂 (96歳)

名古屋教区 第6組 獅明寺  
前坊守 濱田 豊江子  
2025・9・29寂 (96歳)

京都教区 近江第4組 光照寺  
坊守 由本 陽子  
2025・8・19寂 (86歳)

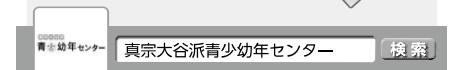
京都教区 近江第26組 卽得寺  
坊守 川那邊 瞳美  
2025・9・23寂 (66歳)

山陽四国教区 東讃第1組 願教寺  
前坊守 千葉 陽子  
2025・8・27寂 (82歳)

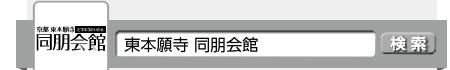
九州教区 大分別府組 蓮行寺  
前坊守 柿本 英子  
2025・10・6寂 (97歳)

九州教区 三瀬組 金蓮寺  
前坊守 下川 純子  
2025・9・8寂 (95歳)

## 宗派関連ウェブサイト等のご案内

真宗大谷派 (東本願寺) 真宗大谷派 ボランティア支援センター 真宗教化センター shinran-kan 東本願寺出版 

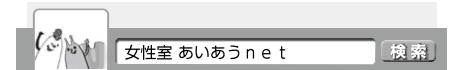
真宗大谷派青少年センター



東本願寺 同朋会館



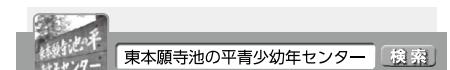
親鸞仏教センター



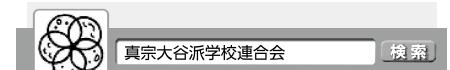
女性室 あいあうネット



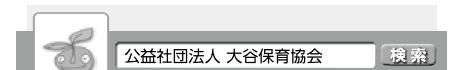
真宗大谷派 (東本願寺) 真宗会館



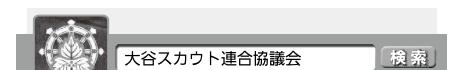
東本願寺池の平青少年センター



真宗大谷派学校連合会



公益社団法人 大谷保育協会



大谷スカウト連合協議会

## 【SNSのご案内】

## Facebook

- ・真宗大谷派 (東本願寺)
- ・しんらん交流館
- ・東本願寺 同朋会館 (真宗大谷派 研修部)
- ・真宗大谷派青少年センター ・親鸞仏教センター
- ・真宗大谷派 (東本願寺) 真宗会館
- ・真宗大谷派学校連合会



## Instagram

- ・東本願寺 しんらん交流館 (shinrankoryukan\_higashihonganji)
- ・東本願寺出版 (higashihonganji\_bookstore)



## X(Twitter)

- ・真宗大谷派 (東本願寺) (@OTANIHA\_PR)
- ・真宗大谷派 災害情報 (@otaniha\_saigai)
- ・東本願寺出版 (@OTANIHA\_BOOKS)

宗派公式ウェブサイトで『同朋新聞』がお読みいただけます。

同朋新聞

安井廣正 越谷由美子 戸田直夫 植村 治 林 良照  
中島正義  
僧都  
北 秀慧 日馬教生 桑谷 優 館 雄学 岡田寛子  
藤條 周 大山 売 井上法英  
権僧都  
藤谷亮一 野々山隆音 加藤心華 福芳尊法 義盛幸仁  
律師  
羽深一浩 中尾 哲 藤島演定

権律師  
松本宏美 藤繩 崇 不破英明 加藤法子 長尾光道  
中村直純 安藤優山  
法師位  
北條正道 佐竹直敏 神戸大暉 吉田朋晃 石崎晃正  
鷺野正紀  
満位  
岩倉彰里 左右田光城 黒沢祐子 藤崎隆也  
加藤めぐみ 野々山照緑 林 瑛実 秋山智子  
藤井良明 寺谷正行 山本國生 増山周洋 長洲悠樹  
富田 朗 大江敦美 大江宏明 植間 要 松本秀樹  
木村 永 松林慧悟 武田昭雄 井上 都  
入位  
大野有希奈

## 学 隆

学師  
大野有希奈

## 得 度 (11月7日)

東北教区青森県第2組 明教寺 三明真実  
東北教区秋田県南組 安乘寺 相馬 歩  
東京教区埼玉組 證大寺 大畠鎌児  
東京教区東京2組 宗念寺 永井靖子  
新潟教区第20組 常明寺 猪谷みれ  
岐阜高山教区第8組 德仁寺 田中燈意  
岐阜高山教区第14組 西寶寺 野田幹依  
岐阜高山教区第15組 順運寺 石神智顕  
岡崎教区第33組 長教寺 渡邊了英

御香・蠟燭

創業三十三年  
御香・蠟燭

財木屋

〒602-8034 京都市上京区油小路通丸太町上ル  
TEL(075)231-1063 FAX(075)231-1068

すねいる 所蔵版 大谷派声明集

大連夜勤行・満日中勤行  
報恩講式歎德文・御伝鉢拌説  
文類偶真四句目下  
伽陀八章(渡音阿弥陀経)  
昭和法要式・御文拌説  
正信偈和譜・大谷勤行集  
出世/霊場勤行・御文集  
CD12枚セット  
定価24,200円(税込) [すねいる(後藤)]

〒602-8319 京都市下京区若宮通七条上ル竹屋町  
電話 075-343-0240 FAX075-371-0871

## 功 章 旌 賞

### 特殊大功章

菱川裕導

### 特殊功章

藤井勇一 佐竹直敏 山内 崇 多藝慈朗 中尾 哲  
洲崎善範 中條峴山

### 第一功章

加藤法子 森口宏文 藤井信彰 藤繩 啓 山本昌哉  
藤原了基 黄木寺亮人 長尾光道 藤澤雅史 史陀浩輝

### 第二功章

菊池頸純

### 第四功章

北 耀徳

### 第五功章

菅原信章

### 第八功章

加藤はるか 羽深一浩

### 特殊大旌賞

藤原亮照 松平竜温 坂倉宣雄

### 特殊旌賞

佐竹直敏 山内 崇 中尾 哲 藤井信彰 藤原了基  
英 貴志 近藤孝司 藤谷亮一 野々山隆音 水谷照信  
内山晃佳 關根良潤

### 一等旌賞

加藤法子 森口宏文 藤繩 啓 山本昌哉 黄木寺亮人  
長尾光道 藤澤雅史 史陀浩輝

### 二等旌賞

菊池頸純

### 四等旌賞

北 耀徳

名古屋教区第9組 淨賢寺 友松夏子  
京都教区山城第3組 真西寺 久連松良温  
大阪教区第17組 勝光寺 柳原美樹  
大阪教区第17組 勝光寺 柳原 光  
九州教区大分別府組 順運寺 富田満穂  
九州教区久留米三井組 正運寺 蓮原心理  
九州教区熊本西組 光顯寺 尺一未来

五等旌賞  
菅原信章  
七等旌賞  
羽深一浩  
八等旌賞

加藤はるか 尾谷美香 熊澤 覚 金浦 乘 酒井悠真  
名川朋宏 桑谷 優 藤 智子 伊東唯真 本谷来生  
廣瀬有慶

## 感謝状

一般財團法人太田慈光会代表理事

太田惠津子

## 敬 弔 ご生前のご功労を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

(2025年10月16日～11月15日受付まで)

### 住職及び前住職

北海道教区 第20組 法壽寺  
前住職 義盛幸仁  
2025・9・18寂(88歳)

新潟教区 中越13組 順性寺  
前住職 井上法英  
2025・9・12寂(76歳)

金沢教区 第5組 西光寺  
住職 中條峴山  
2025・9・4寂(89歳)

金沢教区 第8組 圓長寺  
住職 藤島演定  
2025・8・22寂(88歳)

福井教区 第3組 正覺寺  
前住職 林良照  
2025・8・27寂(84歳)

大垣教区 第3組 福善寺  
前住職 中島正義  
2025・10・14寂(89歳)

大垣教区 第15組 明圓寺  
住職 藤原亮照  
2025・8・13寂(86歳)

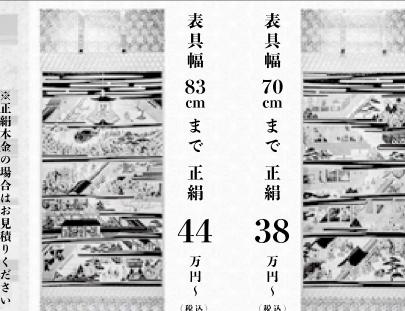
岡崎教区 第26組 廣澤寺  
住職 安藤優山  
2025・8・29寂(82歳)

名古屋教区 第3組 蓮乘寺  
前住職 楠勵  
2025・8・25寂(87歳)

名古屋教区 第5組 以覺寺  
前住職 菱川裕導  
2025・9・24寂(92歳)

毎月全国へ出張訪問中  
まずは電話・メールなどでご連絡ください。  
日程相談の上参上いたします。

寺宝  
正絹金襴綾子  
文化財修理修復表装



御絵伝・七高僧・聖徳太子

杉本工芸 〒602-8268 京都市上京区山里町236-1  
TEL075-417-6966  
自社工房内で一貫作業いたします  
sugikake@gmail.com

そろそろ  
修理

見積無料

## 公示・告示・任免等

## 任免辞令

四日市別院列座 小野豊徳  
願により役務を免じます  
(2025年7月31日)

稲垣真名 中村惟称 本谷阿人  
難波別院書記に任命します  
難波別院書記 梶 誠  
同 中村惟称  
難波別院列座の兼務を命じます  
(以上、9月21日)

鹿児島別院列座 嵐小原法籍  
鹿児島別院会計の兼務を解きます  
(9月30日)

鹿児島別院列座 大鳳眞志  
鹿児島別院会計の兼務を命じます  
期限 2028年9月30日まで  
山陽四国教務所主計 大島朋昭  
広島別院会計事務取扱の兼務を命じます  
(以上、10月1日)

古賀堅志  
長峯顕教  
佐々木高  
轡田普善  
山田孝彦  
参務に任命します  
参務 長峯顕教  
財務長に任命します  
参務 山田孝彦

解放運動推進本部長に任命します  
青少幼年センター長に任命します  
参務 佐々木高  
行政改革推進本部長に任命します  
参務 轡田普善  
儀式指導研究所長に任命します  
首都圏教化推進本部長に任命します  
(以上、10月20日)

三島多聞  
高山別院輪番に任命します  
任期 2027年10月22日まで  
(10月23日)

帯広別院輪番 田辺 豊  
願により役務を免じます  
大谷祖廟事務所主事 達 順信  
財務部主事の兼務を解きます  
大谷祖廟事務所嘱託 盛 英美  
財務部嘱託の兼務を解きます  
(以上、10月31日)

金倉泰賢  
帯広別院輪番に任命します  
任期 2029年10月31日まで  
総務部書記 藤波龍景  
財務部書記の兼務を解きます  
総務部書記 守瑠理子  
財務部書記の兼務を命じます  
組織部主事 番坂啓史  
宗会事務局主事の兼務を命じます  
出版部書記 光澤顕也  
宗会事務局書記の兼務を命じます



(2)

教育部出仕 高山 崇  
大谷専修学院書記の兼務を命じます  
(以上、11月1日)

北畠顯諒 滑川義幸 中谷哲夫 渡辺智香  
堀川秀道 金石潤尊 梶 宗  
宗費賦課金に関する審議会委員を委嘱します  
(11月4日)

那須信純 菅原 貴 加藤晴郎 大見政弘  
竹部俊恵 英 信哉 北浦康至 長澤秀豊  
中西無量  
別院の再編成に関する委員会委員を委嘱します  
期限 2028年11月11日まで  
(11月12日)

## 住職 (10月28日)

北海道教区第4組 淨願寺 尾谷美香  
北海道教区第16組 順正寺 中野美穂子  
北海道教区第16組 勝龍寺 片岡龍一  
東京教区茨城1組 来應寺 真穂天祥  
新潟教区第14組 福順寺 夏井了照  
富山教区第3組 段條寺 今井 賢  
能登教区第3浜方組 普法寺 藤永 悟  
能登教区第14組 忍性寺 鳴崎真人  
金沢教区第3下組 称佛寺 川原 稔  
金沢教区第9河北組 明現寺 森 智見  
岐阜高山教区第3組 正淨寺 渡辺竜誠  
大垣教区第5組 圓長寺 池田幸弘  
大垣教区第11組 貞念寺 岡崎教区高岡組 西雲寺  
岡崎教区第24組 大覺寺 酒井 和  
名古屋教区第1組 道誠寺 大澤雄氣  
名古屋教区第2組 順正寺 市野智行  
名古屋教区第22組 安祐寺 坂田 弦  
京都教区近江第1組 立專寺 安井はるか  
京都教区第4組 教福寺 石川真也  
山陽四国教区第4組 教福寺 鷺野倫也



山陽四国教区備後組 明正寺  
九州教区京都組 唯念寺  
九州教区田川組 善龍寺  
九州教区大分東組 安念寺  
九州教区福岡組 常樂寺

藤間哲祐  
大久保龍樹  
長尾良見  
河野晃尚  
斧山有史

## 住職代務者

東北教区秋田県西組 順應寺 平 裕  
東京教区東京3組 真淨寺 朝倉万作  
新潟教区第7組 法泉寺 虎石 薫  
富山教区第5組 順榮寺 宮尾正仁  
岐阜高山教区第7組 興雲寺 河合敦正  
大垣教区第14組 了福寺 北村清孝  
岡崎教区高岡組 萬國寺 牧野直人  
岡崎教区第26組 廣澤寺 竜嶽正紀  
岡崎教区第27組 立石寺 太田 哲  
三重教区三重組 源長寺 坂口 愛  
京都教区長浜第17組 圓樂寺 法雲俊邑  
京都教区長浜第24組 本宗寺 東野義誠  
京都教区敦賀組 了雲寺 岡山 巧  
京都教区近江第11組 淨願寺 宮戸 弘  
大阪教区第13組 本乘寺 富田弘子  
山陽四国教区備後組 明眞寺 上野悦之

## 特命住職代務者

福井教区第1組 善林寺 延澤栄賢

## 教師

権大僧正  
鬼頭正信  
僧正  
日野大修 八木昌之  
権僧正  
池田正優 小川大授 洲崎善範 楠 勲  
大僧都  
桃井肖章 松澤成人 史陀浩輝 義盛如寿  
権大僧都  
江隈 智 渡辺淨道 菊澤顯純 英 貴志 竹ヶ鼻友真

価値ある よき品質の製品をつくる会社



【宗祖親鸞聖人七百五十四御遺忘記念 紅地天人之図絵手刺繍御打数珠納】

〒600-8159 京都市下京区烏丸通東本願寺前(定休日 日曜日・祝日)

■TEL 075-341-6391(代)  
■TEL フリーダイヤル 0120-07-6391 ■FAX フリーダイヤル 0120-34-2816  
■URL <https://shibata-houiten.com/>(Webカタログ掲載・商品動画配信中)  
■E-Mail [shibatahoui@mbg.biglobe.ne.jp](mailto:shibatahoui@mbg.biglobe.ne.jp)

真宗大谷派 東本願寺御用達

京法衣 京法衣事業協同組合加盟店

株式会社 柴田法衣店



御製装袋動画

今月の推奨念珠

御法要の記念品は  
品質・価格・残った品物の御引取を保証する  
念珠の製造専門店

福永念珠舗

創業 宽政九年 京都

〒600-8174 京都市下京区東本願寺前上珠数屋町角  
電話 (075)-351-2960 FAX (075)-351-0018

8mm

桃色水晶 中玉 本絹房 20玉 (翡翠仕立)

店頭小売価格 11,000円  
表面に桃色本絹房で  
鳳眼菩薩提樹(眼の  
ように桃色本絹房で  
仕立てた美しい桃色  
の水晶を仕立てた  
美しい桃色本絹房を  
仕立てました。)

※掲載商品のカラー画像はオンラインショップでご覧頂けます。

鳳眼菩薩提樹 桃色水晶 福永念珠舗



数量限定

オリジナルクリアファイル  
プレゼントキャンペーン

期間：11月1日(土)～1月31日(土)

「法語カレンダー 2026年版」と「今日のことば2026年版」  
を同時に購入で法語カレンダー（2026年版）の挿絵を  
デザインしたオリジナルクリアファイルをプレゼント！

新刊書も発売中！詳しくは東本願寺出版オンラインショップを  
ご覧ください。

【お問い合わせ】東本願寺出版  
(TEL:075-371-9189 ※平日9時～16時)

東本願寺出版 検索




# 真宗 1月号

## 公示・告示・任免等 ご案内・要項

### 公示・告示・任免等

- 任免辞令 ..... (2)  
住職 ..... (3)  
住職代務者 ..... (3)  
特命住職代務者 ..... (3)  
教師 ..... (3)  
学階 ..... (4)  
得度 ..... (4)  
功章・旌賞 ..... (4)  
感謝状 ..... (5)  
敬弔 ..... (5)

### ご案内・要項

- 宗派関連ウェブサイト等のご案内 ..... (7)  
真宗本廟取骨・詔経・帰敬式受付時間表（2月～3月） ..... (8)  
真宗本廟 参拝接待所のご案内 ..... (10)  
大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内 ..... (12)  
真宗教化センターしんらん交流館のご案内 ..... (13)  
真宗本廟奉仕のご案内 ..... (14)  
現在受付中の募集・開催要項等 ..... (14)  
南米開教区 開教使募集要項 ..... (15)  
若者教化立ち上げ応援プロジェクト募集要項 ..... (16)  
第3回「真宗トーク」アプリで対話力フェス 参加者募集 ..... (17)  
雪に偽しむ池の平with子ども報恩講・第37回スキー学校開催要項 ..... (18)  
第63回 大谷スカウト名譽奉仕訓練開催要項 ..... (20)  
2025年度「真宗 女性僧侶の集い」開催要項 ..... (21)  
学階請求論文提出要項 ..... (22)  
真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告【上山報告】 ..... (23)  
教区真宗学院生募集要項（大臣） ..... (24)

本誌に関してのご意見・ 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上 東本願寺出版「真宗」誌係  
ご要望をお寄せください。  
FAX: (075) 371-9211 E-mail: [shuppan@higashihonganji.or.jp](mailto:shuppan@higashihonganji.or.jp)

2026年(令和8年)1月1日発行 第1462号 1部定価：275円(本体250円+税10%・送料別 毎月1日発行)

編集 東本願寺出版（真宗大谷派宗務所出版部）

発行所 真宗大谷派宗務所 代表者 木越 淳

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上 電話(075) 371-9181 振替01000-6-27404(出版部)

印刷所 (株)京富士印刷 京都市西京区大枝南福西町3-4

お仏壇を中心とした生活・帰敬式実践運動のさらなる展開を願って！

## 謹賀新年

本年もよろしくお願い申し上げます。  
令和8年 新春



※御本尊は本山からお受けしましょう。  
(三折御本尊 小型台なし)



《合掌の心と共に197年》

創業天保元年 伝統工芸 京仏壇・京仏具

株式会社 **若林佛具製作所**

文化財修理 社寺内装・外装工事



株式会社 **若林工芸舎**

【真宗大谷派 ご推奨品】

## 三折御本尊用 御厨子

価格 ¥49,500(税込)

※上記価格に三折御本尊、仏具は含まれておりません。

※荷送料は別途でございます。

※写真はAセット(別売¥12,650税込)仏具入りです。

※価格はいずれも税込みです。

●仕様:木製外回り内部各段扉など黒塗り仕上げ

内部三方板金色仕上げ、扉には打掛け金具  
打ち(金メッキ)、小型三折御本尊用黒塗り  
台付(高さ4.5cm)

●寸法:屋根張30cm 下幅27cm 奥行18.5cm  
高さ37.5cm

◆全国各教務所様、並びに弊社本支店に現物見本がございます。

◆パンフレット・資料をお送り致します。ご請求ください。

京都本店 〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入  
築地店 / 札幌店 / 仙台営業所 / 福岡営業所

お仏壇の事なら何でもお気軽にご相談ください。☎ 0120-37-8585

<https://www.wakabayashi.co.jp/>

若林佛具製作所オンラインショップ

<https://www.wakabayashi-jiin.com/>

莊嚴仏具から内装・納骨壇まで、全国・宗派対応いたします。

お買い物にお得なクーポン配布中！



浄土は死後か？ 心の世界か？

新刊

伝道ブックス94

私はどこへ往き  
生まれるのか—往生浄土の仏道—

亀谷 亨 著



「浄土真宗は浄土に往生して仏になってたすかる教えです」——この説明に、果たして私たちは納得しているのだろうか。そもそも浄土とは何か、私にとって往生とは一体どうなることなのか……？浄土真宗の一丁目一番地を問い合わせてきた著者と共に考える一冊。

新書判／80頁 定価：330円(税込)

伝道ブックス92

仏法とは  
どのような  
教えか

伊藤 元 著



新書判／120頁 定価：330円(税込)

伝道ブックス93

仏教は  
内観やでえ

—真宗に導かれた我が人生—

名倉 幹 著



新書判／88頁 定価：330円(税込)

詳しい書籍情報・試し読みは

東本願寺出版

検索

当派の寺院・教会からの

ご注文は2割引となります。



TEL:075-371-9189  
FAX:075-371-9211